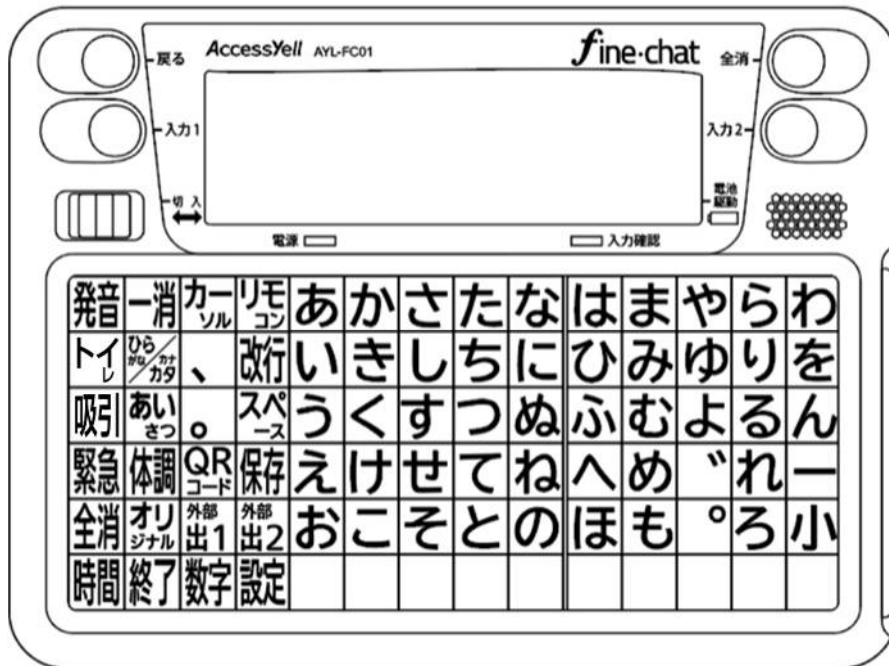


アクセスエール株式会社 **AccessYell**

取扱説明書 意思伝達装置 ファイン・チャット

品番 AYL-FC01-S (シルバー)
-B (ブルー)
-P (ピンク)

fine·chat



裏表紙に保証書あり

目次



安全上のご注意	4
ご使用の前に	6
内容物の確認	6
オプション	6
本機の取り扱いについて	7
使用上のお願い	7
お手入れについて	7
各部の名称と働き	8
準備をする	12
「トイレ」「吸引」シールを貼る	12
設置をする	12
電源の準備をする	12
入力スイッチ(オプション)について	13
なんでも IR の接続	14
ワイヤレスコールセット(オプション)について	14
電源を入れる	14
会話をする	15
文字の入力方法	15
選択を間違えたとき	16
作成した文章を読み上げる	16
作成した文章を全て消去する(全消)	17
さまざまな文字の入力方法	17
呼出ブザーを鳴らす	18
時間を読み上げる	18
会話を終了する	18
文字板を交換する	19
文字板を交換しないで他の文字板の言葉を入力する	20
表示や入力を工夫する	22
液晶画面の文字の大きさを変える	22
カーソルを使う	23
文字板に表記のない文字の入力	24
保存機能	26
作成した文章を保存する	26
保存した文章を消去する	28

	命令機能の保存	29
	オリジナル文字板の活用	30
	文章保存モード	32
印刷機能		33
	プリンターの機種と設定	33
	印刷方法	34
スマートフォンによるデータ取り込み		35
	QRコードの表示と取り込み方法	35
	スマートフォンのアプリについて	35
外部出力機能		36
	接続における特徴と注意点	36
	接続の事例	37
環境制御機能		39
	接続方法	39
	2種類の赤外線信号について	39
	プリセットのテレビ操作画面	40
	学習リモコンの操作画面	41
	学習リモコンでエアコンを操作するときの注意	42
	支援者による信号登録手順	43
	支援者による名称登録手順	46
バッテリー駆動時の工夫		47
USBメモリによるデータの管理		48
起動方法一覧		49
日時設定について		49
設定の変更方法と設定項目		50
	支援者によるクイック設定モード	50
	支援者による設定変更	51
	利用者による設定変更	52
	設定項目一覧	53
故障かな！？		58
こんな症状が出たら		59
Q&A(よくあるご質問)		59
仕様		63
保証とアフターサービス		63
意思伝達装置ファイン・チャット 保証書		64



安全上のご注意 必ずお守りください










人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。






●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。










	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p>	<p>分解、改造をしない</p> <p> 内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
<p>電源プラグのほこり等は定期的にとる</p> <p> ●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。</p> <p>●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>	<p>電源コード・プラグを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)</p> <p> ●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。</p>
<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</p> <p> ●差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p> <p> 感電の原因となります。</p>
<p>雷が鳴りだしたら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない</p> <p> ●落雷すると、感電の原因となります。</p>	<p>水をかけたり、濡らしたりしない</p> <p> ●内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>●水が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

 警告	
<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない 落下すると、けがや製品の故障の原因となります。</p> <p></p>	<p>煙が出ている、異常に熱い・におい、音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く 火災、感電の原因となります。ただちにお買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p></p>
<p>内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く</p> <p> 火災、感電の原因となります。ただちにお買い上げの販売店にご相談ください。</p>	<p>電池は誤った使い方をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「+」と「-」は逆に入れない ●使い切った乾電池は、本機から取り出す <ul style="list-style-type: none"> ●乾電池は充電しない ●長時間使用しないときは、本機から乾電池を取り出す <p> 万一、液漏れが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。 液が身体や衣服についたときは、水で良く洗い流してください。液が目に入った時は、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。</p>

 注意	
<p>次のような場所で使用したり、放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やトランクなど) ●油煙や湿気の当たるところ ●湿気やほこりの多いところ ●重いものの下 ●足元など、誤ってふんでしまうようなところ ●振動の激しいところ <p>火災ややけど、感電、破損の原因となります。</p> <p></p>	<p>電源コードを持って抜かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。 ●必ず、電源プラグを持ってください <p></p>
<p>ショルダーベルトは首に掛けて使用しない</p> <p> けがや事故の原因となります。</p>	<p>ショルダーベルトを乳幼児の手の届くところに置かない 誤ってショルダーベルトを首にまきつけ、事故につながるおそれがあります。</p> <p></p>
<p>病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う</p> <p> 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがあります。</p>	<p>お手入れの際や長時間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。</p> <p></p>
<p>本機専用のACアダプター以外は使わない</p> <p> 指定外のACアダプターを使用すると火災・感電の原因となります。</p>	<p>電源を入れたまま長時間、直接接触して使用しない 本体の温度の高い部分に長時間、直接接触していると低温やけど※の原因となります。</p> <p></p> <p>※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは低温やけどになりやすい傾向があります。</p>

ご使用の前に

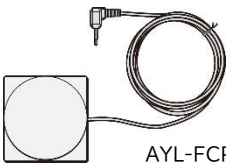
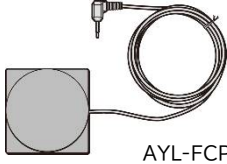

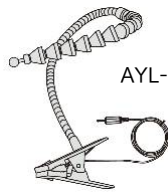




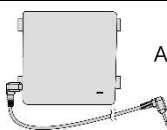


内容物の確認

内容物をご確認ください。

もし不備な点がありましたら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1	ファイン・チャット(本体)・・・1	2	AC-USB アダプター・・・1	3	USB-DC プラグケーブル・・・1
					
4	文字板(ひらがな、あいさつ、体調、オリジナル)・・・各1	5	ショルダーベルト・・・1	6	取扱説明書(保証書記入欄あり)・・・1
					
7	なんでも IR・・・1	8	USB コード(なんでも IR 専用/白色)・・・1	9	文字板用シールセット・・・1
					

オプション(補装具給付制度における修理項目)

10	シンプルスイッチ-W	11	シンプルスイッチ-N	12	フットスイッチ	13	ホップタッチスイッチT
 AYL-FCP021 本体は白色です		 AYL-FCP022 本体は黒色です		 AYL-FCP023		 AYL-FCP024	
14	支持アーム	15	フレキシブルアーム	16	多機能アーム	17	スタンドアーム
 AYL-FCP001		 AYL-FCP002		 AYL-FCP003		 AYL-FCP004	
18	小電力型ワイヤレス 接点入力送信器	19	小電力型ワイヤレス 卓上型受信器	20	小電力型ワイヤレス 携帯型受信器セット		
 AYL-FCP011		 AYL-FCP012		 AYL-FCP013			

【ご注意】本製品のワイヤレスコールはナースコールではありません。生命にかかわる用途での使用はできません。

■必要に応じてお客様にご準備いただくもの

- 乾電池(単3形アルカリ乾電池X4本)…ACアダプターを接続しないで使用する
またはモバイルバッテリー(USB-DC プラグケーブルに接続して使用できます。詳細は47ページ参照)
- モノラルイヤホン…利用者だけが音声を聞きたいとき
- モノラルスピーカー…本機の音量をスピーカーより大きな音量で出したいとき
- プリンター*1とUSBケーブル…作成した文章を印刷するとき
- モノラルミニプラグケーブル(抵抗なしタイプ)またはマイクロUSB-B・USB-A 端子ケーブル
…本機以外の意思伝達装置やタブレット*2を接続するとき

※1 プリンターはエプソン製のUSB端子を持つ一部の機種が対応しています。

(2021年4月1日現在、33ページ参照)

※2 接続できる機器や接続のためのケーブル、ソフトなどに制限があります。詳しくは36ページを参照してください。

本機の取り扱いについて

- 落下などによる強い振動や衝撃を与えないでください。
- 下記の場所では、故障などの原因となることがありますので、特にお気を付けください。
 - ・砂やほこりの多いところ
 - ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- 万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 固定用ネジ穴を使用している場合、本機上部に強い力を与えないでください。

使用上のお願い

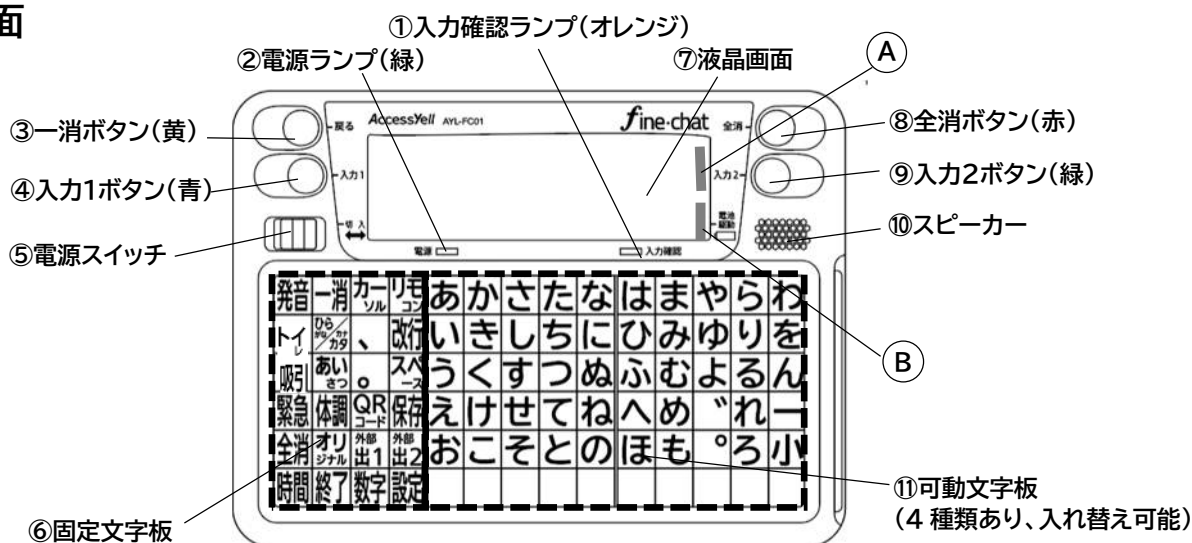
- 設置・使用の前後では、支援者がこまめに固定状況や接続ケーブルの不具合などを確認し、事故のないようにしてください。
- 本機に内蔵されている呼出ブザーはナースコールとしては使用できません。
- 本機側面の端子部は、同じ形状の端子が多数並んでいます。接続先をよくご確認のうえ、正しく接続してください。

お手入れについて

- お手入れの際は、乾電池を取り外し、また電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は絶対に使用しないでください。

各部の名称と働き

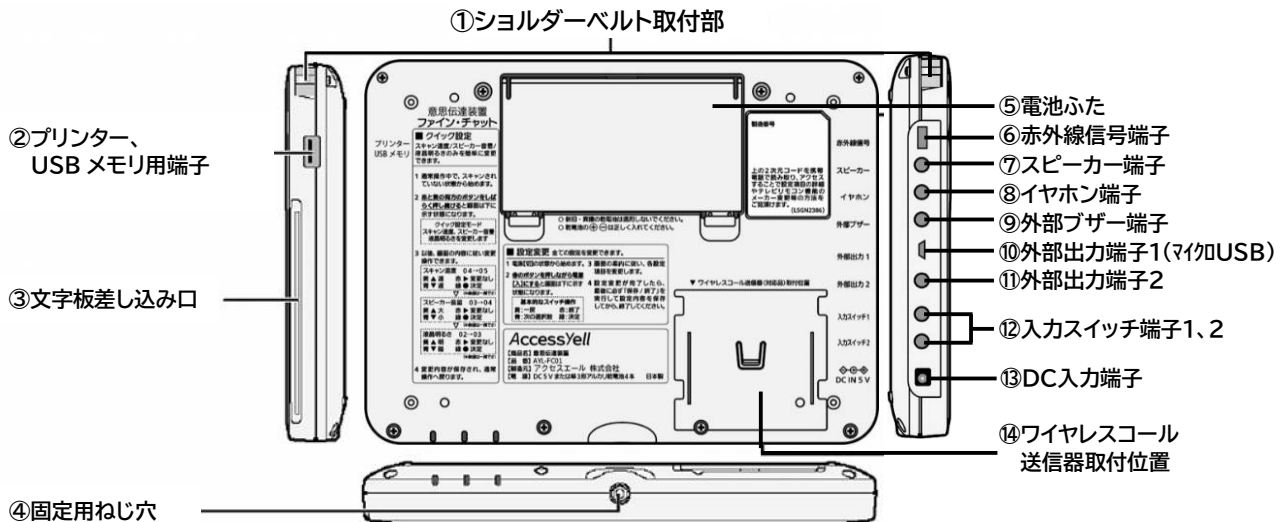
■正面




※上記のイラストは「ひらがな」の文字板をセットし、「トイレ」「吸引」のシールを貼った状態のものです。

名称	働き
① 入力確認ランプ(オレンジ)	入力スイッチや本機ボタンを押したときにランプがオレンジ色で点灯します。入力スイッチを押したことを目で確認できます。▶14ページ
② 電源ランプ(緑)	電源スイッチが【入】のとき、ランプが点灯します。乾電池で駆動している際は、電池の残量が少なくなると、約1秒周期で点滅を繰り返します。さらに乾電池の容量がほとんどなくなった状態では、約0.5秒の周期で点滅を繰り返します。点滅している場合、早めに乾電池を交換してください。▶14ページ
③ 一消ボタン(黄)	カーソルの手前の文字(言葉)を消去します。ただし、直前に「ひらがな/カタカナ」「あいさつ」「体調」「オリジナル」を選択した場合はその選択を解除します。文字板の赤いランプの移動中に押すと、その間だけランプの移動が停止します。▶16. 32. 49. 50. 51ページ
④ 入力1ボタン(青)	入力スイッチ端子1に接続した入力スイッチと同じ役割をします。利用者に代わって支援者が操作する場合や設定変更の時に使います。▶32. 51ページ
⑤ 電源スイッチ 【入】右側 【切】左側	電源を入れるとき、このスイッチを【入】(右側)にします。このとき、本機はスリープ状態となります。この状態で入力スイッチをしばらく(約0.5秒)押し続けると本機が起動、入力待ち状態になります。スリープ状態でも、わずかですが待機電力として電池を消費します。乾電池で動かす場合はこまめに電源スイッチを【切】(左側)にすることで乾電池の使用時間を延ばすことができます。▶14ページ
⑥ 固定文字板	選択部分が光ります。▶10ページ
⑦ 液晶画面	選択した文字や文章、設定変更メニューや現在の状態が表示されます。乾電池起動時は左下にバーが表示されます(⑧)。また、設定変更時には左上にバーが表示されます。(⑨)
⑧ 全消ボタン(赤)	作成した文章を全て消去します。直後にもう一度押すと消えた文章が再び表示されます。(全消の取り消し)文字板の赤いランプが移動中に押すとその動作を中止します。▶17. 32. 51ページ
⑨ 入力2ボタン(緑)	入力スイッチ端子2に接続した入力スイッチと同じ役割をします。利用者に代わって支援者が操作する場合や設定変更の時に使います。▶32. 51ページ
⑩ スピーカー	作成した文章を読み上げる音声や操作時のガイド音が出ます。
⑪ 可動文字板	選択部分が光ります。付属の4枚の文字板を交換して使います。▶19ページ

■背面／側面／底面



名称		働き
①	ショルダーベルト取付部	付属のショルダーベルトを取り付ける部分です。 
②	プリンター、USBメモリ用端子	USBケーブルを用いて、プリンターを接続します。⇒33ページ また、USBメモリを接続することでデータの保存、呼出ができます。⇒48ページ
③	文字板差し込み口	付属の文字板を差し込む部分です。⇒19ページ
④	固定用ねじ穴	支持アームなどの対応品で、本機を固定するときに使います。⇒12ページ
⑤	電池ふた	電池を使う時に、この部分を開けて単3型乾電池4本を入れます。⇒12ページ
⑥	赤外線信号端子	付属の「なんでもIR」を接続する端子です。付属の白いUSBケーブルを使います。⇒39ページ
⑦	スピーカー端子	市販のスピーカーを接続する端子です。より大きな音を出したいときに使います。
⑧	イヤホン端子	モノラルイヤホンを接続する端子です。イヤホンを接続すると、操作音は利用者のみに聞こえます。スピーカーからは「発音」を選んだときに液晶画面を読み上げる音声と、呼出ブザーを鳴らしたときのブザーの音だけが聞こえます。
⑨	外部ブザー端子	ワイヤレスコール送信器(周辺機器)を接続する端子です。⇒14ページ
⑩	外部出力端子1	本機以外の意思伝達装置やタブレット端末などを接続する端子です。 外部出力1はマイクロUSB端子のため、パソコンなどと直接接続が可能です。 ⇒36ページ
⑪	外部出力端子2	
⑫	入力スイッチ端子 (入力スイッチ1 入力スイッチ2)	入力スイッチを接続する端子です。この端子は2つありますが、1つのスイッチで操作する場合(1スイッチ・オートスキャン方式および1スイッチ・ステップスキャン方式)ではいずれかの端子にスイッチを接続します。 2つのスイッチで操作する場合(2スイッチ・ステップスキャン方式)は「送り」用の入力スイッチを入力スイッチ端子1に、「決定」用の入力スイッチを入力スイッチ端子2の端子に接続します。⇒13ページ
⑬	DC入力端子	付属のUSB-DCケーブルを接続します。コンセントで使うときはその先のUSB端子には AC-USB アダプターを接続します。モバイルバッテリーを接続するときは、USB端子とモバイルバッテリーを接続しますが、モバイルバッテリーがスリープしないように、設定 27「自動スリープ」を MB(モバイルバッテリー対応)にしておいてください。⇒56ページ
⑭	ワイヤレスコール送信器取付位置	ワイヤレスコール送信器(オプション)を取り付けます。

■固定文字板

固定文字板の機能は右の対応表の番号にあわせてご覧ください。

発音	一消	カーソル	リモコン	①	⑦	⑬	⑰
トイレ	ひらがなカタ	、	改行	②	⑧	⑭	⑳
吸引	あいさつ	。	スペース	③	⑨	⑮	㉑
緊急	体調	QRコード	保存	④	⑩	⑯	㉒
全消	オリジナル	外部出1	外部出2	⑤	⑪	⑰	㉓
時間	終了	数字	設定	⑥	⑫	⑱	㉔

※イラストは「トイレ」「吸引」のシールを貼った状態のものです。

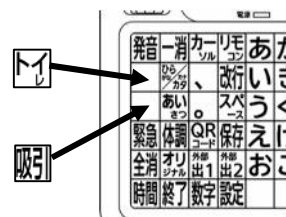
名称		働き
①	発音	作成した文章を読み上げます。液晶画面に何も表示されていない場合は、時間に応じて「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」のあいさつを発音します。
②	トイレ	液晶画面に「トイレ」と入力します。(事前に付属のシールを貼ってください)⇒12ページ 保存機能を使えば別の単語や文章も保存できます。元に戻すときは、液晶画面に何も表示されていない状態で「保存」を選択します。 ([保存した文章を消去する] ⇒28ページ)
③	吸引	液晶画面に「吸引」と入力します。(事前に付属のシールを貼ってください)⇒12ページ 保存機能を使えば別の単語や文章も保存できます。元に戻すときは、液晶画面に何も表示されていない状態で「保存」を選択します。([保存した文章を消去する] ⇒28ページ)
④	緊急	本体内蔵のブザーが鳴ります。ワイヤレスコール(オプション)を接続すれば、離れた場所のブザーも鳴らせます。 ⇒14、18ページ
⑤	全消	作成した文章を全て消します。 直後に、もう一度選択することで消した文章が再び表示されます。 本体の全消しボタン(赤)が同じ役割をします。 ⇒17ページ
⑥	時間	液晶画面に日付、曜日、時刻を表示します。⇒18ページ このとき、時刻を音声で読み上げるので、液晶画面が見えなくても時刻の確認ができます。

⑦	一消	カーソルの手前の文字(または単語)を消します。 「ひらがな」「あいさつ」「体調」「オリジナル」の枠を選択した直後に、この枠を選択したときは、その選択を取り消します。 本体の黄ボタンが同じ役割をします。 ➡16ページ
⑧	「ひらがな／カタカナ」	いずれかの枠を選択すると、セットされた文字板にかかわらず選択された枠の文字板が入っている状態となります。これにより、文字板を交換することなく別の文字板の文字を入力できます。
⑨	「あいさつ」	二度続けて同じ枠を選択すると、選択した枠の文字板が入っている状態で固定されます。もう一度同じ枠を選択すると固定が解除されます。
⑩	「体調」	ひらがなの文字板をセットしているときに「ひらがな／カタカナ」を選択するとカタカナ入力ができます。
⑪	「オリジナル」	「あいさつ」「体調」「オリジナル」の文字板挿入時には、カタカナ入力はできません。 ➡20、21ページ
⑫	終了	本機をスリープ状態にします。 このとき、電源は切れていませんので、入力スイッチの長押しなど、起動方法で設定した方法で操作すると、再起動します。 ➡18ページ
⑬	カーソル	カーソルの位置を変更します。 ➡23ページ
⑭	、(読点)	読点を入力します。
⑮	。(句点)	句点を入力します。
⑯	QRコード	選択時に液晶画面に表示されている文章を QR コードで表示します。 文章が長くなると、複数の QR コードに分割されるときがあります。 スマートフォンで順次読み取ることで文章を電子データで取り込むことができます。 ➡35ページ
⑰	外部出力1	入力スイッチの信号を本機側面「外部出力1(マイクロ USB 端子)」に切り替えます。 パソコンタイプの意思伝達装置の USB 端子と接続するだけで、パソコンタイプの意思伝達装置をファイン・チャットに接続した入力スイッチで操作できます。(利用できる機種は限定されます) パソコン、タブレットの種類や操作ソフトによって信号が異なります。接続するハード、ソフトの取扱説明書を参照のうえ、適切な信号を55ページ:設定 22「外部出力1信号」で設定してください。 ➡36ページ
⑱	数字	数字を入力します。選択肢となる数字が液晶画面に表示されます。 ➡24ページ
⑲	リモコン	リモコン操作画面に切り変わります。56 ページ:設定30「環境制御機能」を「会話のみ」にしている場合は、画面は変わりません。 ➡39ページ
⑳	改行	改行を行います。
㉑	スペース	1文字分の空白(スペース)を入力します。
㉒	保存	作成した文章、記号等を保存枠に保存します。4種類の文字板それぞれの保存枠、合計62か所に保存できます。 ➡26ページ
㉓	外部出力2	入力スイッチの信号を本機側面「外部出力2」に切り替えます。 ➡36ページ
㉔	設定	設定変更の画面に切り替わります。 ➡52 ページ

準備をする

「トイレ」「吸引」シールを貼る

本機には、日常よく使用されると思われる「トイレ」と「吸引」の項目があらかじめ保存されています。ご使用前に付属のシールを本機に貼ってください。(右図参照)



設置をする

オプションの支持アームなどを使って、本機を設置します。オプションに付属の取扱説明書に従い、安定した場所に取り付けてください。設置の際は利用者の安全を最優先に配慮し、事故の無いようにご注意ください。

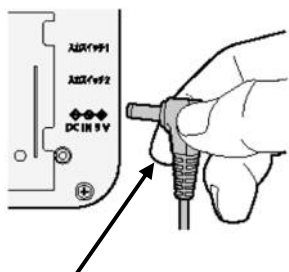
なお、本機の固定用ネジ穴は、三脚用ネジに適合していますので、市販のカメラの三脚などに取り付けて設置することもできます。市販のカメラの三脚などを利用する場合は、本機をしっかりと支えることができるタイプの三脚で、床面の安定した場所に設置してください。

※取付または取り外し時に、ネジが斜めにならないようにご注意ください。無理な力で回すと、本機の固定用ネジ穴を破損するおそれがあります。

電源の準備をする

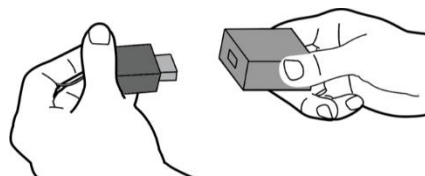
■家庭用コンセントを使う場合

①USB-DC プラグケーブルの DC端子側を本機につなぐ

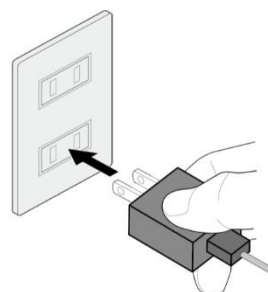


電気が供給されれば、プラグの差込口付近が緑色に光ります

②USB-DC プラグケーブルの USB端子側を AC-USB アダプターのUSB接続口に差し込む



③AC-USB アダプターをコンセントに差し込む



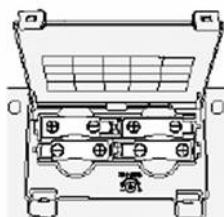
※モバイルバッテリーを利用する場合は上記の②で USB-DC プラグケーブルのUSB端子側をモバイルバッテリーに接続します。

■乾電池を使う場合

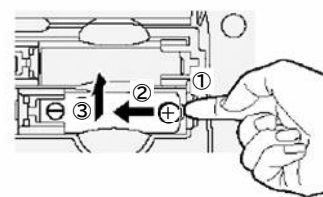
①本機裏面の電池ふたを開ける



②乾電池(4本)を入れ、ふたを閉める



●電池を取り出すときは・・・
+と-を確認し、+側に爪をかけ、-側に押しながら上げて取り出してください。



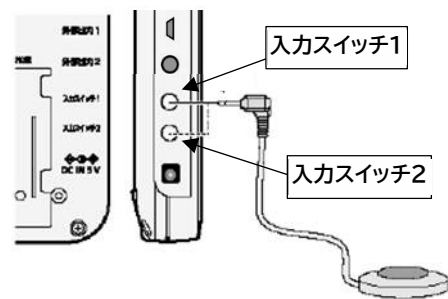
お知らせ

- ・乾電池は単3形アルカリ乾電池をお使いください。(ニッケル水素電池〔品番:HHR-3MVS〕も使用できます。)
- ・乾電池の残量が減ってくると電源ランプでお知らせします。
 - *電源ランプ(緑)が遅い間隔で点滅:まもなく乾電池が無くなります。早めに乾電池を交換してください。
 - *電源ランプ(緑)が速い間隔で点滅:乾電池が消耗しています。すぐに新しい乾電池に交換してください。(モバイルバッテリーの場合は、残量表示はできません)
- ・乾電池の連続使用可能時間は、新品のアルカリ乾電池4本(パナソニック製アルカリ乾電池)で約8時間(室温25℃)です。こまめに電池を切ることで乾電池の持ち時間を長くすることができます。
- ・乾電池とACアダプター(またはモバイルバッテリー)の両方を使った場合は、ACアダプター(またはモバイルバッテリー)が優先になります。ACアダプター(またはモバイルバッテリー)からの電気供給がなくなると自動的に乾電池に切り替わります。
- ・乾電池駆動時は液晶の右下に乾電池駆動であることを示すバーが表示されます。(⇒8ページ⑧、14ページ)
- ・不要となった乾電池は地方の条例に従って処理してください。
- ・モバイルバッテリーは「Anker ジャパン社」製のみ動作確認しております。(2020年10月現在) 同社製のものをお使いください。

入力スイッチ(オプション)について

入力スイッチを入力スイッチ1または入力スイッチ2の端子に接続します。

- ・スイッチを1つだけで操作する場合は「入力スイッチ1」又は「入力スイッチ2」のいずれかの端子に入力スイッチを接続します。(どちらに接続しても構いません)
- ・スイッチを2つ用いて操作する場合は、「入力スイッチ1」と「入力スイッチ2」の両方の端子にそれぞれ入力スイッチを接続します。ただし、2スイッチステップ入力の場合は設定変更が必要です。(⇒57ページ:設定35「スイッチ操作方法」)



以下、機器の操作を行うための入力方式を選択します。

【1 オート】 «一つのスイッチで操作します»

1 スイッチ・オートスキャン方式となり、自動的に赤いランプが動きます。このとき、本機の側面の「入力スイッチ 1」「入力スイッチ 2」の端子は両方とも同じ機能となります。

【2 ステップ】 «二つのスイッチを組み合わせて操作します»

2 スイッチ・ステップスキャン方式で入力を行います。「入力スイッチ 1」で赤いランプを次へ移動させ、「入力スイッチ 2」で点灯している部分を選択します。また、このときの外部出力は 2 入力方式で1台もしくは 1 入力方式で 2 台のいずれかの操作を行う機器に対応します。

2つのスイッチを確実に押し分けられる方におすすめします。このときは自分のペースで文字を選択することができます。「長押しキャンセル」は無効となります。

【1 ステップ】 «一つのスイッチで押し時間の長さを組み合わせて操作します»

1 スイッチ・ステップスキャン方式で入力を行います。「入力スイッチ 1」「入力スイッチ 2」の端子は両方とも同じ機能となります。入力スイッチを短押しすると赤いランプが次へ移動し、長押しすると点灯している部分を選択します。外部出力の端子は 1 スイッチで操作できる機器を2台まで接続可能です。

長押しによる選択の決定は、選択音と共にスキャン中は赤いランプの1回消灯で、それ以外は文字板中央に円形に赤いランプが点灯することで確認できます。

スイッチの短押しおよび長押しを確実に押し分けられる方におすすめします。このときは自分のペースで文字を選択することができます。「長押しキャンセル」は無効となります。

お知らせ

- ・他社製の製品でも、「パシフィックサプライ社」、「トクソー技研社」の入力スイッチはすべて動作確認済み(2021年4月現在)です。その他の会社の入力スイッチは動作保証外です。また、自作された入力スイッチは動作保証外かつ非推奨です。できるだけ既製品の入力スイッチを利用してください。
- ・入力スイッチは、以下のホームページも参考に、販売店、医療関係者と相談して選定してください。「マイスイッチ ホームページ」: <https://myswitch.jp/>



なんでもIRの接続

付属の「なんでもIR」を使うと、テレビをはじめとする、赤外線リモコンで操作可能な家電製品を操作することができます。詳細は39～46 ページ「環境制御機能」を参照してください。

利用には以下の準備が必要となります。

- ①「なんでもIR」の接続（39ページ）
- ②プリセットリモコン、学習リモコン利用の有無の設定(56ページ:設定30「環境制御機能」)
- ③プリセットリモコンの利用は、事前にテレビメーカーの設定が必要(40ページ)
- ④学習リモコンの利用には事前にリモコン信号の学習が必要(41ページ)

お知らせ

- ・最初はプリセットリモコンでテレビの操作のみを行い、慣れてきてから、支援者に学習リモコンの登録を行って頂き、利用範囲を広げることをお勧めします。
- ・なんでも IR 利用時はできるだけコンセントからの電力供給を受けるようにしてください。乾電池では電力が不足するなど動作が不安定になる可能性があります。

ワイヤレスコールセット(オプション)について

ワイヤレスコールの送信器、受信器を接続していれば、本機の電源を【切】にしたときも、入力スイッチ又は入力ボタンを押すと、ワイヤレスコールを鳴らすことができます(本機の呼出ブザーは鳴りません。)電源を切っても誰かを呼ぶ機能だけは確保できるので安心です。

お知らせ

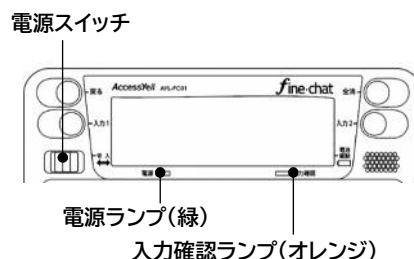
- ・ワイヤレスコールを利用される場合には、ワイヤレスコールに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・本機を乾電池で使用しているとき、乾電池が無くなると、呼出ブザーもワイヤレスコールも鳴らすことができない場合があります。早めに乾電池を交換するか、ACアダプターを使用してください。

電源を入れる

1)電源スイッチを【入】にして、電源ランプ(緑)の点灯を確認する。

この状態を「スリープ状態」と呼びます。

もし緑のランプが点灯していなければ、ACアダプター(またはモバイルバッテリー)が外れているか、乾電池が無くなっているかもしれません。再度ご確認ください。



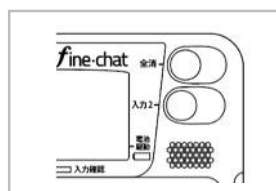
2)起動する・入力スイッチをしばらく(0.5秒以上)押して離す。

「ポロロ〜ン」の音とともに、液晶画面が明るくなりファイン・チャットが起動します。

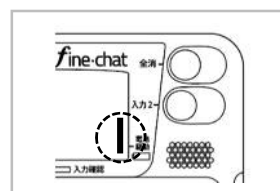
- ・57 ページ:設定31「起動方法」が『瞬間』に設定されている場合、入力スイッチを一瞬押すだけで起動します。
- ・本機の入力1ボタン(青)、入力2ボタン(緑)または接続した入力スイッチのいずれかを押すと入力確認ランプ(オレンジ)が点灯します。

お知らせ

- ・起動中は、液晶画面左下の表示でACアダプター、モバイルバッテリーで動いているのか、乾電池で動いているのかを確認することができます。



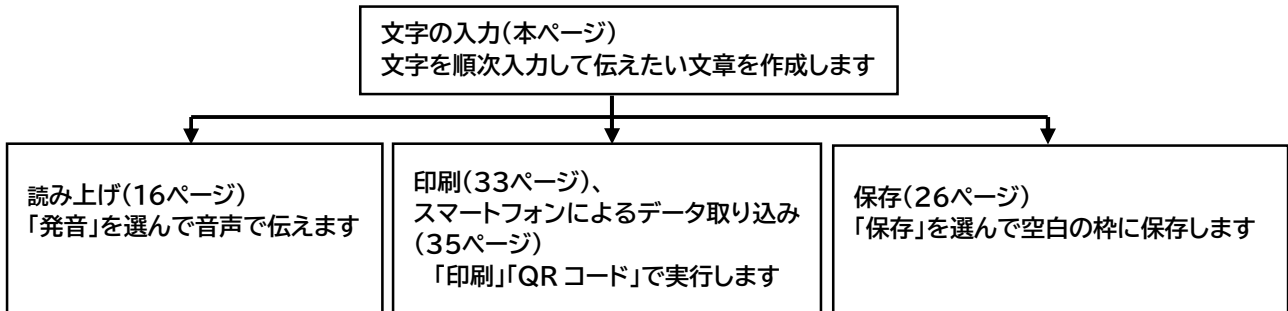
AC アダプター、
モバイルバッテリーの場合



乾電池の場合

会話をする

本機で会話をするための手順は次の通りです



文字の入力方法

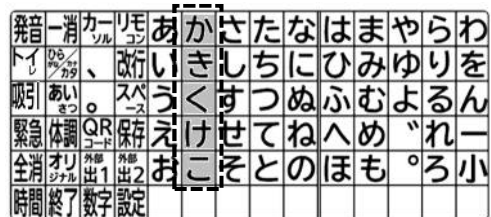
本機には利用者に合わせたさまざまな設定があり、その設定によって動作が異なります。ここでは、設定項目が初期状態であることを前提として説明します。設定を変更した場合は、設定に合わせた動きをします。

【例】『ひらがな』の文字板で「こんにちは」の「こ」を選ぶ場合
以下の事例は 1 スイッチオートスキャンの場合を示します。2 スイッチステップスキャン、1 スイッチステップスキャンではそれぞれに対応した操作となります。(13 ページ「入力スイッチについて」参照)

- ①ブロックを選択する。
入力スイッチを1回押す
- ・ブロックごとに順番に光ります。
 - ・「操作」⇒「あかさたな」⇒「はまやらわ」という音声流れます。
- 「あかさたな」のブロックに「こ」があるので、「あかさたな」で入力スイッチを1回押します。
- ・選択したブロックの中で列ごとに順番に光ります。
 - ・「あいうえお」⇒「かきくけこ」⇒「さしすせそ」⇒「たちつてと」⇒「なにぬねの」という音声流れます。



- ②列を選択する。
「かきくけこ」の列に「こ」があるので、「かきくけこ」で入力スイッチを押します。
- ・選択した列の中で、枠ごとに順番に光ります。
 - ・「か」⇒「き」⇒「く」⇒「け」⇒「こ」という音声流れます。



- ③文字を決定する。
「こ」で入力スイッチを押します。
- ・液晶画面に「こ」の音声とともに、「こ」が入力されます。
- これで「こんにちは」の「こ」が液晶画面に入力されました。



同様の手順で繰り返して文字を入力して液晶画面に「こんにちは」と作成してください。

選択を間違えたとき

■誤って違うブロックや列を選んだ場合:

対応方法は以下の3つがあります。

(方法1)

そのまましばらく待ちます。赤いランプは2周同じ動きをすると止まります。(初期設定では2周となっています。設定変更すると1、2、3週のいずれかが選べます。53ページ:設定11「スキャン回数」)
その後、もう一度入力スイッチを押すと、最初に戻って改めて文字を選ぶことができます。

(方法2) <<55 ページ:設定18「上の階層への移動」が「あり」の時>>

選択したいところと違う選択肢(ブロック)を間違えて選んだ場合、そのブロック内の選択肢の列を1列ずつスキャンしますが、その最後に選択肢全体が光り、「戻る」と発音する選択肢があります。この時に入力スイッチを押すと、その上の階層へ戻り、間違えて選択したブロックの次のブロックからスキャンが始まります。

列の選択を間違えた場合も同様に1文字ずつスキャンしますが、その最後に列全体が光り、「戻る」と発音する選択肢があります。この時に入力スイッチを押すと、選択した列の次の列から再度スキャンが始まります。

初期設定では「上の階層への移動」が「あり」になっています。設定変更で「なし」にすると、「戻る」の選択肢は表示されなくなります。この場合、この(方法2)は利用できなくなりますが、スキャンの選択肢が1つ少なくなるので、操作に慣れて間違いが少ないという方には、そのほうが操作が早くなります。

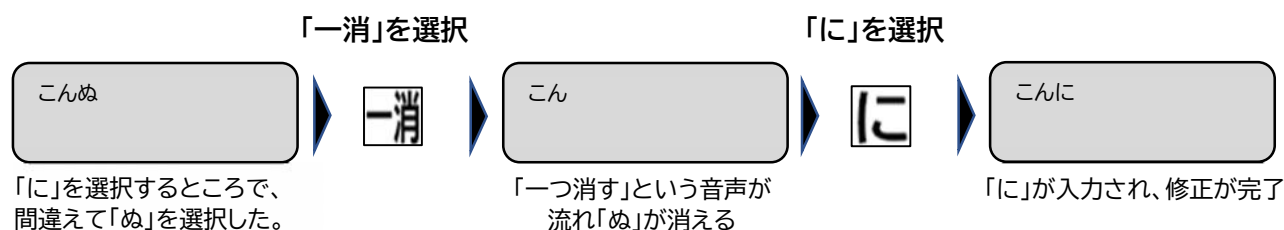
(方法3) <<53ページ:設定4「長押しキャンセル」が「あり」で、かつ長押し時間が2秒以上の時>>

入力スイッチを「長押し時間の半分の時間」だけ長押しするとスキャンをキャンセルし、すぐに最初から選択をやり直すことができます。(初期設定では「長押しキャンセル」は「なし」になっています。)

■誤って違う文字を液晶画面に入力した場合:

文字の選択と同様の手順で「一消」を選び、間違えて入力した文字を消します。

例:誤って入力した「ぬ」を「に」に訂正する場合



お知らせ

- ・文章の途中の文字を消去(修正)するときは、カーソルの移動の機能を使います。文字板の「カーソル」を選択して、修正したい文字の右側にカーソルを移動させてから「一消」を選択することで対応します。
- ・本機の「一消」ボタン(黄色)を押すことでも最後の一字を消去することができます。

作成した文章を読み上げる

作成した文章を読み上げることで、周りの人と会話をすることができます。

①文章を作成する。(「文字の入力方法」➡15ページ)

- ・作成した文章が液晶画面に表示されます。

②発音を選択する。

- ・「発音」という音声の流れ、作成した文章が読み上げられます。



お知らせ

- ・液晶画面に一度に表示される文字数の設定については22ページ「液晶画面の文字の大きさを変える」をご覧ください。
- ・一度に作成できる文章の上限文字数は、液晶画面の表示行数にかかわらず960文字です。ただし、「改行」が含まれると、プログラムの関係で上限文字数は多少減ります。
- ・「こんにちは」の「は」は、「わ」ではなく「は」と発音されます。
「わ」を「は」と読み上げたい場合は「ひらがな／カタカナ」+「。」で「～は(わ)」を選択します。(24ページ参照)
- ・文章の読み上げ中に、入力スイッチ、本機の入力ボタン1、または入力ボタン2を押すと読み上げを中止します。
- ・液晶画面に何も表示されていない状態で「発音」を選択すると、時間に応じて「おはようございます(朝)」、「こんにちは(昼)」、「こんばんは(夜)」と発音します。
- ・スキャンの速度やスピーカーの音量の調節については、50ページ「支援者によるクイック設定モード」や 52ページ「利用者による設定変更」をご覧ください。
- ・読み上げの速度の調節については54ページ:設定15「読上速度」をご覧ください。
- ・音声の種類は「女性」「男性」「男の子」「女の子」が選択できます。(初期設定では「女性」になっています。)変更については53ページ:設定10「音声種類」をご覧ください。

作成した文章を全て消去する(全消)

作成した文章をすべて消去します。

- ① 「全消」の枠を選択することで、液晶画面の文章をすべて消去します。



お知らせ

- ・本機の「全消」ボタン(赤色)を押すことでも液晶画面の文章をすべて消去できます。
- ・誤って「全消」を選んでしまった場合でも、すぐにもう一度「全消」を選択すると、「全消」は取り消され文章は復活します。本機の「全消」ボタン(赤色)を押した場合でも同様に復活します。

さまざまな文字の入力方法

文字板に無い「小文字」「濁点」「半濁点」の文字は、「ひらがな」または「カタカナ」の文字を入力した後に、それぞれ「小」「`」「°」の枠を選択することで入力できます。

<入力の組み合わせの例>

入力したい形式	例	入力方法
小文字	「よ」	よ → 小
濁点	「で」	て → `
半濁点	「び」	ひ → °

呼出ブザーを鳴らす

操作中に呼出ブザーを鳴らすことができます。操作をしていない時でも電源が入っていればブザーを鳴らすことができます。ワイヤレスコール(オプション)を接続すれば電源を切った時でもブザーを鳴らすことができます。→9ページ、14ページ

呼出ブザーの操作の方法は以下の3通りです。

呼出ブザーを止めるときは、もう一度スイッチを押してください。

(方法1) **緊急** を選択する。

(方法2) 入力スイッチを長押しする。

設定時間以上押し続けるとブザーが鳴ります。初期設定では2秒です。

長押し時間は53ページ:設定2「長押し時間」で変更できます。

53ページ:設定3「長押しブザー」の設定を「なし」にすると、長押しでブザーは鳴らないようにできます。入力スイッチを押しっぱなしにすることが多い場合にはこの設定を「なし」にしてください。

(方法3) 入力スイッチを連打する。

設定時間内に設定回数連打するとブザーが鳴ります。初期設定では「なし」になっています。

53ページ:設定8「連打ブザー」で設定時間と連打回数を設定できます。

お知らせ

- ・ワイヤレスコール(オプション)を接続すれば離れた場所でブザーを鳴らすことができます。
- ・意図していないのにブザーが鳴ってしまう、または意図したときにブザーを鳴らすことができない等の場合は、53ページ:設定2「長押し時間」、設定3「長押しブザー」、設定8「連打ブザー」等の設定で調整できます。→詳細な調整方法については61ページ Q&A を参考にしてください。
- ・呼出ブザーの音量は53ページ:設定7「ブザー音量」をご覧ください。
- ・ブザー音は4種類から選べます。53ページ:設定9「ブザー種類」で変更できます。

時間を読み上げる

現在の時間を音声で確認することができます。

時間 を選択する。

- ・「時間」という音声流れます。
- ・現在時刻を音声で読み上げます。(日付は表示のみで、読み上げません)

2020年
11月25日(水)
午前10時15分

お知らせ

- ・本機の電源を切っても設定した時間は記憶されます。ただし、約2ヶ月間電源を入れないままにしておくと、時刻がずれる可能性があるので再度設定してください。
- ・日時の設定は、49ページ「時間設定方法」または、57ページ:設定33「日時設定」で変更できます。

会話を終了する

終了させる方法は、次の3通りです。

(方法1) **終了** を選択する。(スリープ状態に移行)

(方法2) 3分間、なにも操作しない。(スリープ状態に移行)

56ページ:設定27「自動スリープ」を「あり」にしたときのみの機能です。

(方法3) 電源スイッチを切る。(主電源のOFF、支援者のみ可能)

支援者が再び電源スイッチをONにするまで操作できません。

お知らせ

- ・[方法1]又は[方法2]で終了した場合、液晶画面が暗くなります。この状態をスリープ状態と呼びます。入力スイッチを長押しすれば、液晶画面にスリープ前に作成していた文章が再び表示され、通常動作に戻ります。
- ・[方法3]で終了した場合、液晶画面の文字はすべて消えます。また、支援者が電源を入れる(⇒14ページ)まで、スイッチを使った操作ができなくなりますのでご注意ください。

文字板を交換する

全ての文章をひらがなの文字板だけで入力するのは大変です。そこで、文字板は【ひらがな】に加え、よく使用する言葉を【あいさつ】【体調】の文字板にまとめています。また、【オリジナル】の文字板を作ることができます。これらの文字板を交換して使うことができます。

・【ひらがな】の文字板

基本の文字板です。固定文字板の「ひら／カタ」を選択すると、カタカナを入力できます。



・【あいさつ】の文字板

主にあいさつや感情表現の言葉、疑問符「?」、感嘆符「!」等を並べています。



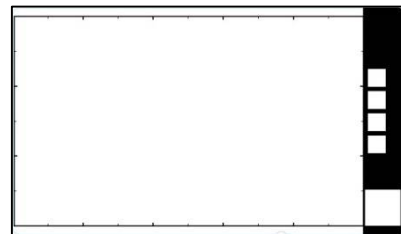
・【体調】の文字板

体調を訴えるときに必要な言葉です。病院の先生などと会話するときに便利です。



・【オリジナル】の文字板

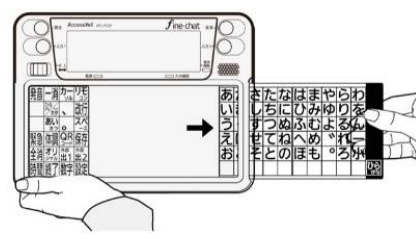
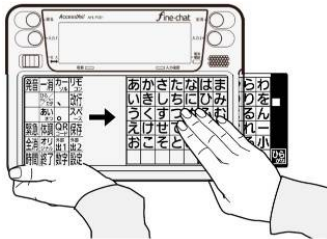
好きな言葉を30個まで保存できます。分割数を変更することもできます。(⇒30ページ)



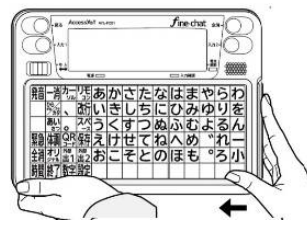
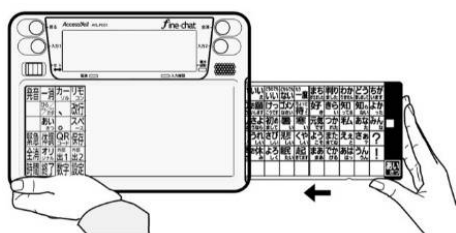
文字板の交換方法

文字板の入れ替えは、支援者が行います。


- ①本機をしっかりと持って文字板を右へスライドする。
- ②文字板が右から出てきたら、文字板を引き出す。




- ③セットする文字板を差し込み口からまっすぐに差し込む。
- ④文字板を最後までしっかりと押し込む。




・例2：【ひらがな】の文字板が入った状態で、【あいさつ】の「はじめまして」を入力する場合





→  を選択する。

④ あいさつの文字板の入力を解除するときは、もう一度、文字板の  を選択する。


・「あいさつ解除」という音声の流れ、元の状態に戻ります。

・解除された後、 を選択すると、ひらがなの「う」が入力されます。

お知らせ


・  を選んだ場合や、  の文字板が入っているときの  を選んだ場合も、同様の手順で選択した文字板の固定、解除ができます。


■「カタカナ」を入力するとき




ひらがなの文字板が入っているときに  を選択すると、カタカナの入力を行うことができます。

お知らせ

・「カタカナ」は【ひらがな】の文字板がセットされているときのみ選択できます。

・2回続けて  を選択すると、カタカナの入力に固定されます。

再度  を選択すると、カタカナの入力が解除されます。

・   を2回連続で選択してこれらの文字板に固定している時は、固定解除後に  を選択することでカタカナが入力できます。

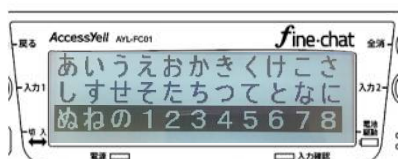
表示や入力を工夫する

液晶画面の文字の大きさを変える

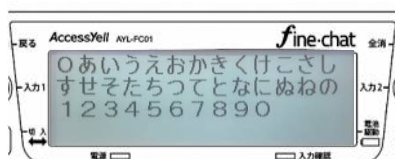
■液晶表示行数

液晶画面に表示される文字の大きさは右表のように設定で変更できます。
 設定は56ページ:設定26「液晶表示行数」で行います。
 初期設定の文字の大きさは「中」です。

文字の大きさ	表示行数	行あたりの文字数	表示最大文字数
小	5	16	80
中	4	13	52
大	3	11	33



「11文字×3行」の表示例



「13文字×4行」の表示例



「16文字×5行」の表示例

■表示行数のオート機能

液晶の表示行数を表示される文字数に応じて自動的に切り替えることができます。
 設定で「オート1」「オート2」「オート3」から選択が可能です。
 入力する文書の長さや見やすさを考えて、設定を行ってください。
 (56ページ:設定 26「液晶表示行数」参照)

オート1	3、4、5 行表示
オート2	3、4 行表示
オート3	4、5 行表示

例えば、オート1では、最初は大きな文字の3行で表示されていますが、入力文字数が増えるに従い、4行表示、5行表示と自動的に切り替わります。行数が増えるに従い表示される文字は小さくなりますが、液晶画面には最大80文字まで一度に表示されます。

お知らせ

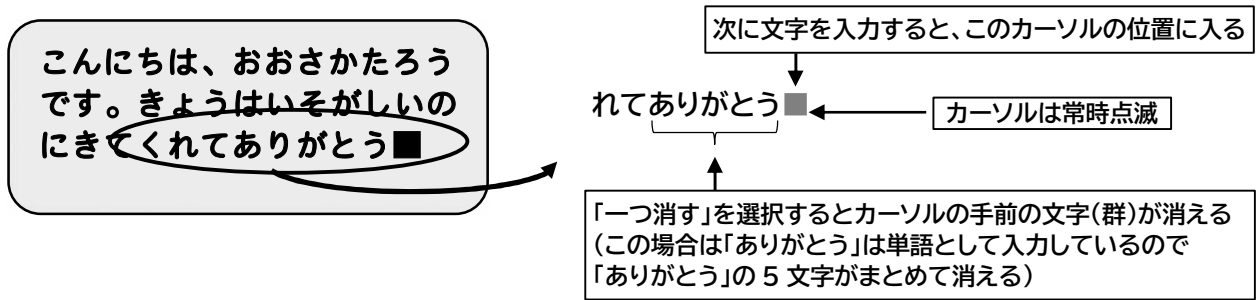
表示行数が「増えるときの文字数」と「減るときの文字数」は、概ね以下のように規定しています。

- 文字数が増えるとき
 - 3行表示の時・・・24文字以上になると4行表示に切り替わります
 - 4行表示の時・・・42文字以上になると5行表示に切り替わります
- 文字数が減るとき
 - 5行表示の時・・・26文字以下になると4行表示に切り替わります
 - 4行表示の時・・・15文字以下になると3行表示に切り替わります

カーソルを使う

■カーソルの状態

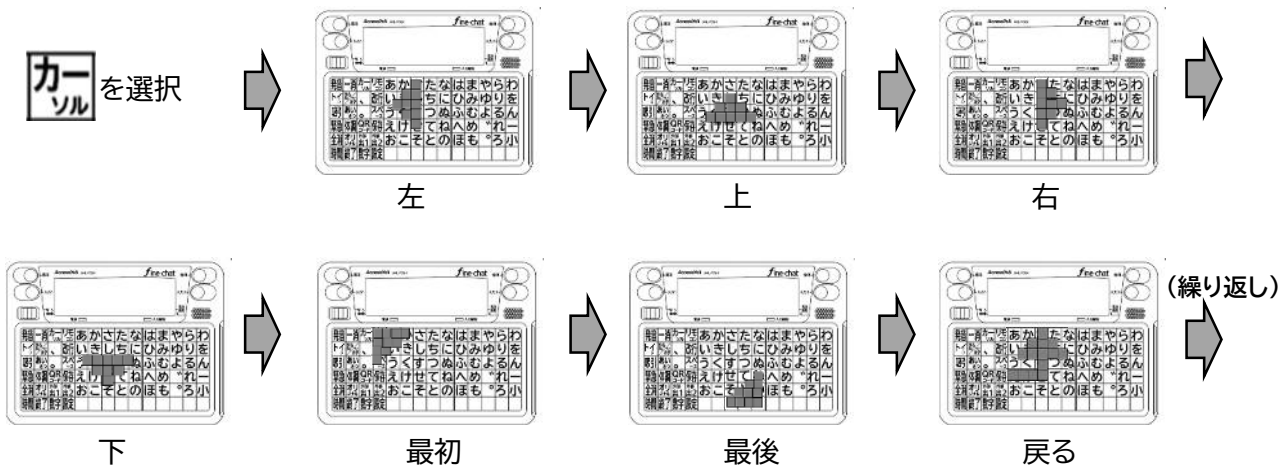
カーソルは通常、次に文字が入力される場所のところで点滅しています。
この状態で文字の入力や「一消」を行うときの動きを示します。



■カーソルの移動

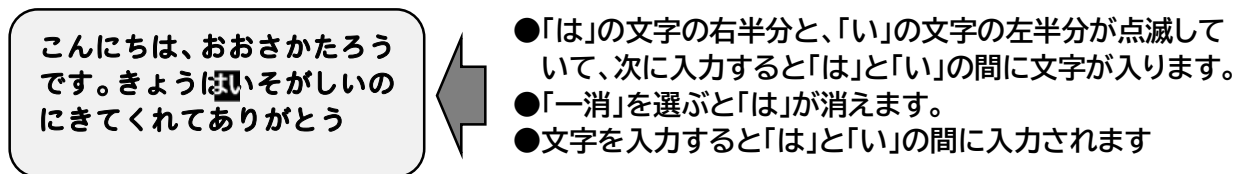
カーソル を選ぶと起動音が鳴り、文字板のLEDで方向を示しながら、カーソルの移動方向を読み上げます。

移動させたい方向が示されているときに入力スイッチを押してカーソルを移動させます。カーソルの移動が完了したら「戻る」を選択して文章作成に戻ります。
選択肢は「左、上、右、下、最初、最後、戻る」の7つで、音声ガイドとLEDの矢印で示されます。



カーソルを文章の最後に移動させる場合は、カーソルの位置で「最後」を選択します。
カーソルが移動し、保持時間を経過したら、都度、カーソル点滅部前後6文字(合計12文字、単語を含む場合は単語全体を含めて)を読み上げます。
カーソル部までは設定の音声で読み上げ、カーソル部からは音声男女反対となって読み上げることで、音声だけでもカーソルの位置を認識することができます。

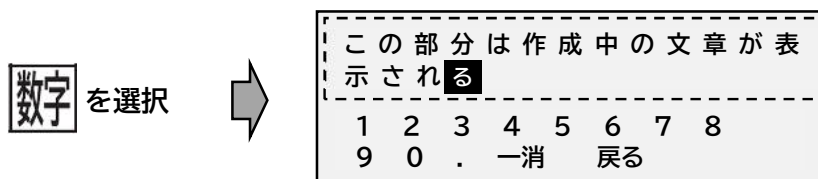
(例)カーソルを「きょうはいそがしい」の「は」と「い」の間に移動した例



文字板に表記のない文字の入力

■数字を入力する

固定文字板の「数字」を選択することで、数字を連続して入力することができます。



液晶の上の部分にはカーソルの部位を中心に2行分だけ文字が表示されます。入力スイッチを押すと下2行分の数字が順番にスキャンされます。数字を選択すると上の文章のカーソルの部分に数字が入力されます。数字の選択を終了するときは「戻る」を選択します。

■文字板に表記されていない文字を入力する

固定文字板の のいずれかの枠を選んでから、すぐ右の「カーソル」「リモコン」の列を選択すると、別の文字、単語などを入力することができます。以下に、枠の組み合わせにより入力できる「文字」「単語」を示します。

■ との組み合わせ

枠の組み合わせ	文字、機能	枠の組み合わせ	文字、機能
+	<機能>印刷	+	<機能>紙送り
+	～は(わ)	+	<機能>確認
+	<機能>イヤホン読上げ	+	<機能>命令保存
+	?	+	!
+	「	+	」

お知らせ

<機能>の補足説明

- ・印刷、紙送り ……接続したプリンターで印刷や紙送りを実行します。(33 ページ参照)
- ・確認 ……液晶画面を最初から最後までゆっくりスクロールさせます。作成した文章全体を見直す際便利です。確認の実行中に入力スイッチを押せば、いつでも中断して入力状態に戻れます。
- ・イヤホン読上げ ……液晶画面の文字をイヤホン端子に接続したイヤホンにだけ読み上げてくれます。「発音」で周囲の方に聞いてもらう前に自分で確認するときに便利です。読み上げの実行中に入力スイッチを押せば、いつでも中断して入力状態に戻れます。
- ・命令保存 ……「印刷」や「外部出力」などの機能を保存します。(29 ページ参照)

■ **あいさつ** との組み合わせ

枠の組み合わせ	文字、機能
あいさつ + ,	+
あいさつ + 。	-
あいさつ + QRコード	×
あいさつ + 外部出1	÷
あいさつ + 数字	=

枠の組み合わせ	文字、機能
あいさつ + 改行	○
あいさつ + スペース	×
あいさつ + 保存	△
あいさつ + 外部出2	□
あいさつ + 設定	¥

■ **体調** との組み合わせ

枠の組み合わせ	文字、機能
体調 + ,	#
体調 + 。	&
体調 + QRコード	・
体調 + 外部出1	(
体調 + 数字	[

枠の組み合わせ	文字、機能
体調 + 改行	*
体調 + スペース	/
体調 + 保存	...
体調 + 外部出2)
体調 + 設定]

■ **オリジナル** との組み合わせ

枠の組み合わせ	文字、機能
オリジナル + ,	急いで
オリジナル + 。	ゆっくり
オリジナル + QRコード	聞こえません
オリジナル + 外部出1	これ以外
オリジナル + 数字	～ (から)

枠の組み合わせ	文字、機能
オリジナル + 改行	車いす
オリジナル + スペース	ベッド
オリジナル + 保存	タオル
オリジナル + 外部出2	ふとん
オリジナル + 設定	まくら

保存機能

本機には、文章や操作を保存できる枠が合計62か所あります。
よく使う文章や操作を保存しておくことで、より簡単に、素早く会話が楽しめます。

保存できる場所(保存枠)は以下の部分です。

- 【ひらがな】【あいさつ】【体調】の文字板の下の枠(10か所×3枚分)
文字板ごとに違う内容が保存できます。



- 固定板の枠(2か所)



- 白紙の文字板(オリジナル文字板)の全ての枠(最大30か所)



作成した文章を保存する

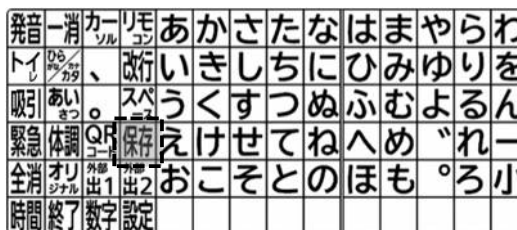
保存したい文章を作成します。

- ①保存したい文章を作成する

こんにちは、たろうです

- ② **保存** を選択する

・「保存」という音声流れます。

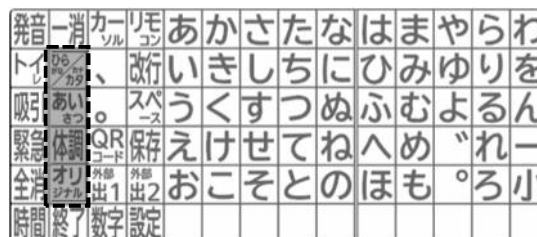


- ・液晶画面に、確認のために保存する文章が表示されます。
- ・保存する文章の最初から10文字を読み上げ、保存することを知らせます。




「こんにちは、たろうです」
の文章を保存します


- ・保存する文字板を選択します。
どの文字板をセットしているときでも、

の順番で点灯します。



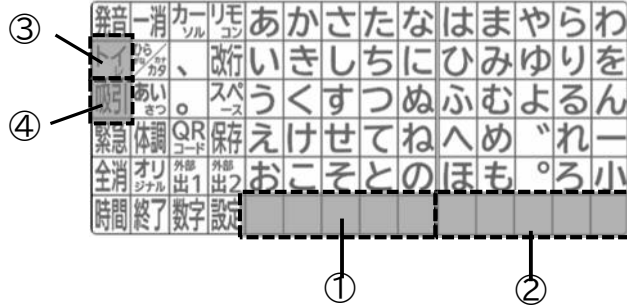
- ・選択した文字板の中で保存ができる枠が順番に点灯します。

   を選択したときは右記のような順番で点灯します。

 を選択した場合は、その時にセットされている分割数に応じて順番に点灯します。

(分割数の設定などは 30 ページ参照)

- ・既に文章や命令機能が保存されている枠は、保存内容の一部を読み上げます。

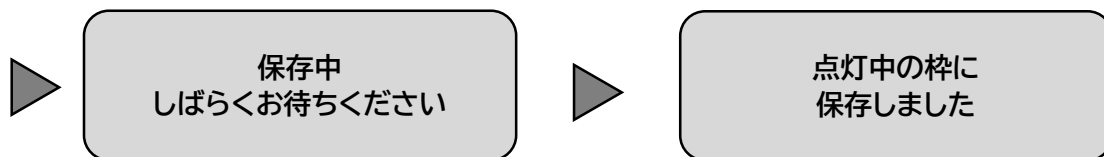
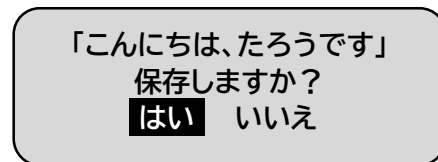


③保存したい枠で入力スイッチを押す



- ④「保存しますか？」と確認を求められたら、「はい」で入力スイッチを押す

- ・「はい」「いいえ」の選択肢の色が反転しながら3回移動します。
- ・「はい」を選ぶと、選んだ保存枠にその文章が保存されます。

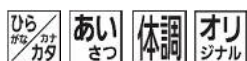


- ・「いいえ」を選ぶ、または何も選ばなければ、保存はされません。液晶画面は元の状態に戻ります。

お知らせ


- ・保存枠の便利な使い方

保存枠に「？」や「！」などよく使う記号などを保存することができます。この機能を使えば、通常は



の枠と固定文字板のいずれかの枠の2回の選択で入力する文字（「？」や「！」、「（、）」など。24, 25 ページ参照）が、いずれかの保存枠を一度選択するだけで入力できるので非常に便利です。

■セットしていない文字板の保存枠への保存方法

セットしている文字板が「ひら/カタ」「あい/さつ」「体調」の場合に  を選択すると「30分割」への保存になります。

「2分割」「4分割」「6分割」「9分割」「15分割」の文字板に保存する場合は26ページ「①保存したい文章を作成する」を行った後に、保存したい分割数に設定された文字板(→30ページ)をセットします。その後「②保存を選択する」を操作してください。

保存した文章を消去する

保存した文章の消去は、「液晶画面になにも入力しない状態」を保存することで行います。

①液晶画面に何も表示がない状態にする。



② **保存** を選択する。

発音	一消	カー	リモ	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
トイ	レ	改	行	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
吸引	あ	い	。	ス	ペ	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ
緊急	体	調	QR	保	存	え	け	せ	て	ね	へ	め	れ
全消	オリ	外部	出	1	出	2	お	こ	そ	の	ほ	も	ろ
時間	終了	数字	設定										

・「保存した文章を消去します」という音声と画面が表示され保存ができる枠が順番に点灯します。

保存した文章を消去します

③消去したい文字板と枠を順番に選択します。
このときの手順は文章を保存するときと同じです。

④「消去していいですか？」と確認を求められたら、「はい」で入力スイッチを押す。

右の例では元々、「こんにちは、たろうです」と保存してあった枠の文章を消去しようとしています。そのため、右のような確認が表示されます。

「こんにちは、たろうです」
消去していいですか？
はい いいえ

・「はい」「いいえ」の選択肢の色が反転しながら3回移動します。
・「はい」を選ぶと、その文章が消去されます。

消去中
しばらくお待ちください



点灯中の枠に
保存した文章を
消去しました

・「いいえ」を選ぶ、または何も選ばなければ、消去はされません。液晶画面は元の状態に戻ります。

●固定枠の一番左の上から2番目の枠(表示は「トイレ」)、3番目の枠(表示は「吸引」)は、何も保存しなければ、それぞれ「トイレ」「吸引」が保存されます。(出荷状態と同じです)

●57 ページ:設定38「保存初期化」を選択すれば、本機に保存された全ての内容が消去されます。

お知らせ

・それぞれの保存枠には、最大960文字まで保存できます。

ただし、「改行」コードが含まれると、プログラムの関係で上限文字数は多少減ります。

・それぞれの保存枠に保存した内容を判りやすくするために、空白に保存した内容をマジックで記入する、またはラベルライター(透明のテプラテープに印字)などを貼って表示することをお勧めします。

命令機能の保存

本機の保存枠には、これまでに紹介した作成した単語だけでなく、「印刷」、「紙送り」などの機能を割り当てることができます。この機能を活用すれば、以下のような使い方ができます。



- (1) よく使う機能(外部出力など)を選択しやすい場所においてすばやく使う
- (2) 文字板の左側1/3(固定文字板)はスキャンさせないで、50音のひらがなの下の10個の保存枠に必要なものだけを割り当てて使う


■保存枠に割り当てられる機能

「保存」の枠に割り当てられる機能は以下の通りです。

1	発音	2	緊急	3	全消
4	時間	5	一消	6	カーソル
7	QRコード	8	外部出力1	9	外部出力2
10	数字	11	リモコン	12	保存
13	イヤホン読上	14	印刷	15	紙送り
16	設定	17	文章確認		

■保存方法

①  を選択 →  が点灯状態になる

②  を選択 → 画面が右のように切り替わり
保存方法の説明が表示される

保存可能な枠に「発音」
「緊急」等を保存できます
まず、保存する「命令」
を選択します


③ 液晶画面に保存できる項目を表示、順次スキャンされるので、割り当てたい項目を選択します。

発音 緊急 全消 時間 一消
カーソル QRコード 外部出力1
外部出力2 数字 リモコン 保存
イヤホン読上 印刷 紙送り 設定
文章確認 戻る

④ 保存可能な文字板を選択、その次に保存可能な枠を順次スキャンするので、いずれかを選択するとその枠に命令項目が保存されます。

■消去方法

保存した文章を消去するときと同様(28ページ)、液晶画面に何も表示されていない状態

で  を選択すると「保存した文章を消去します」と表示され、消去したい命令機能が登録されている枠を選択すれば消去できます。

オリジナル文字板の活用

固定文字板の **オリジナル** を選択した場合には、30分割のオリジナル文字板として使用できます。

さらに、本機のオリジナル文字板は、分割数を2分割から30分割まで6種類に設定することができ、本機に入力できる言葉や、操作機能を保存できます。

意思伝達装置として、ひらがなを使った文字入力だけではなく、それぞれの方の生活状況にあった、文章や単語、イラスト等を選択できるようにすることで、より便利なコミュニケーションツールとして利用することができます。

例えば、最初は30個の選択肢から選択することが困難な場合でも、オリジナル文字板の分割数を少なくして選びやすくすることができます。

オリジナル文字板(表側)	オリジナル文字板(裏側)
保存する言葉を記入したりイラストなどのシールを貼ったりします。	白い四角に黒いシールを貼る作業と、分割数に合わせた罫線を引きます。

①オリジナル文字板の分割数を選択する。

- オリジナル文字板は分割する数によって作成できる枚数が異なります。
(2、6、9、15分割は2パターン、4分割は3パターン、30分割は1パターンのみ)
- 例えば4分割の文字板を3パターン作成し、「テレビを見るととき」「食事のとき」「外出のとき」などのシーンに応じて、各枠に別々に保存することができます。利用者の状況に応じて、分割数を下記の6種類(2分割、4分割、6分割、9分割、15分割、30分割)から選んでください。
- オリジナル文字板の「白枠」へのシールの貼り方を変えることで分割数の設定を変更できます。
- 同じ分割数の文字板を複数のパターンで作ることができます。(30分割を除く)
文字板裏面へのシールの貼り方を変えることで、2分割、6分割、9分割、15分割は2パターン、4分割は3パターンまで作成できます。

オリジナル文字板の分割数と白枠への黒シールの貼り方

分割数	分割図	黒シールの貼り方
2		
6		
15		
60※		

このパターンは環境制御機能の専用文字板として動作

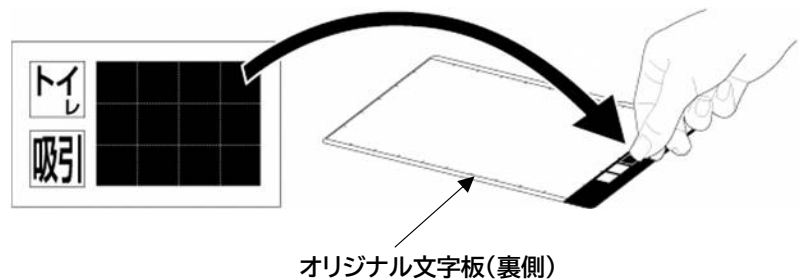
黒いシールは 31 ページ②を参照しながら、必ず文字板の裏側に貼ってください

※:60分割の文字板をセットすると、設定にかかわらず環境制御専用の動作となります。この60分割の文字板には文章の保存はできません。

(56ページ:設定30「環境制御機能」のメニューでの「学習リモコンのみ」の動作)
この文字板をセットすることで「環境制御機能専用機」として使うことができます。

②黒シールを貼る。

設定したい分割数に合わせて、手順①の「白枠への黒シールの貼り方」に一致するように、付属の黒シールを貼る。



シールは文字板の裏側に貼ること

③選択した分割数に対応した罫線を引く。

- ・選択した分割数に応じて、手順①の表(オリジナル文字板の分割数と白枠への黒シールの貼り方)を参照しながら罫線を引きます。
- ・罫線はオリジナル文字板の表側、裏側のいずれにも引くことができます。

④各枠へ文字の記入またはイラストや写真を貼り付ける。

- ・分割したそれぞれの枠に保存したい項目を描きます。項目は「文字」や「イラスト」を油性ペンで描くことができます。
- また、透明のシートで「裏面がシール、表面はインクジェットプリンターで印刷ができるタイプ」のものを使えば、支援者が描いたイラストや撮影した写真をプリンターで印刷して貼ることで、簡単にきれいな文字板を作成することができます。
- なお、透明シートは家電量販店などでお買い求めください。

⑤対応する言葉を保存する。

- ・以下の手順で、作成したオリジナル文字板の各枠に対応する言葉を保存します。

- ①【ひらがな】【あいさつ】【体調】の文字板をセットして、保存したい文章を作成します。
- ②分割数の設定が完了した「オリジナル文字板」に交換します。
この時、【ひらがな】【あいさつ】【体調】のいずれかの文字板がセットされたままだと、【オリジナル】の文字板は 30 分割となります。

- ③ **保存** → **オリジナル** を選択し、続けて保存場所となる枠を選択して保存します。

オリジナル文字板に保存した文章を消去するときは液晶画面に何も表示されていない状態で上記保存方法を行うことで文章を消去できます。

オリジナル文字板の作成例

	<p>イラストを貼付け</p>
	<p>写真を貼付け</p>
	<p>手書きで作成</p>

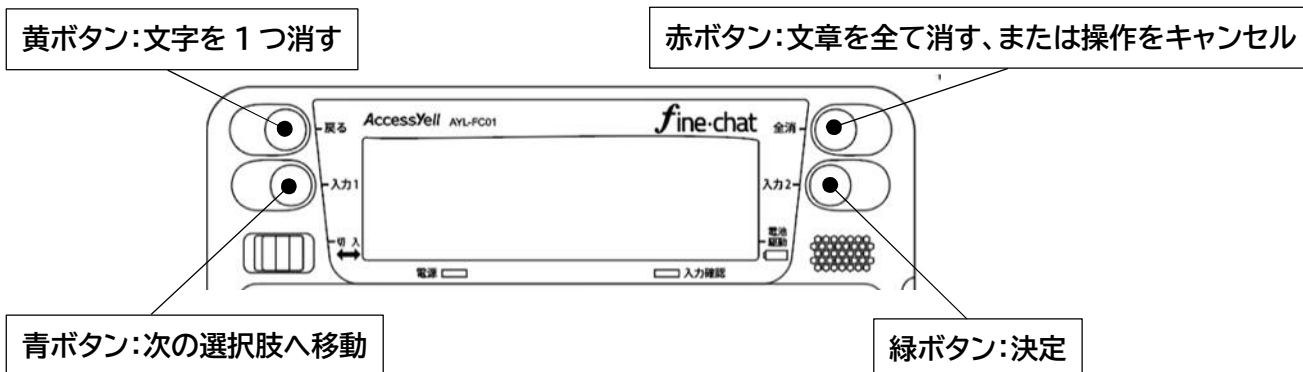
お知らせ

- ・オリジナル文字板に文章を保存する場合は、支援者の方が次ページにある「文章保存モード(支援者が素早く文章を作成して保存)」に従って複数のボタンで行うことで、より早く文章を保存できます。
- ・オリジナル文字板はお客様自身でアクリル板を用いて作成することも可能です。追加のオリジナル文字板も販売していますので、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・保存機能操作の途中で無操作が1分間続くと、「あと〇秒入力が無ければ通常動作に戻ります」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的に通常動作に戻ります。

文章保存モード(支援者が素早く文章を作成して保存)

文章の保存は大変便利な機能ですが、利用者が1つのスイッチで長い文章を作成して保存するのは時間がかかります。そこで、利用者をサポートする支援者が代わりに素早く文章を作成して保存するのが「文章保存モード」です。この方法なら、事前に保存したい文章をひと通り決めてから入力作業を行うことで、短時間に文章保存ができて便利です。設定状態に関係なく、2スイッチ・ステップスキャン方式になります。

- ①電源スイッチを切った状態から始めます。
- ②黄ボタンを押しながら電源スイッチを【入】にする。
「文章保存モード」⇒「スイッチ操作」と順番に画面が切り替わります。
(上記の表示中にいずれかのボタンを押しても、次の画面に移ります。)
- ③本機前面の4個のボタンを使って保存したい文章を作成する。
・各ボタンの機能は以下の通りです。



- ④ **保存** を選択する。
- ⑤保存する枠を選択する。
・26ページの『作成した文章を保存する』の操作手順をご覧ください。
- ⑥「保存しますか」の画面で「はい」を選択する。
・選択した枠に作成した文章が保存されます。
- ⑦赤ボタンを押して作成した文章を消す。
- ⑧手順③～⑦の操作を繰り返して順番に文章を保存します。
- ⑨電源を【切】にし、再度【入】にして、通常動作に戻す。

お知らせ

・文章保存の途中で無操作が1分間続くと、「あと〇秒入力が無ければスリープに移行します」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的にスリープ状態となります。
スリープ状態になる前に、いずれかのボタンを押すと、「文章保存モード」が継続されます。これは、なんらかの理由で支援者が本機を放置してしまっても、自動的に利用者へ操作機能を戻すためです。

印刷機能

本機で作成した文章を対応のプリンターで印刷することができます。
初めて本機とプリンターを接続される場合は、プリンターの機種を確認し、必要に応じて設定変更をおこなってください。(ドライバーなどのインストール作業は不要です。)

プリンターの機種と設定 (2021年4月現在)

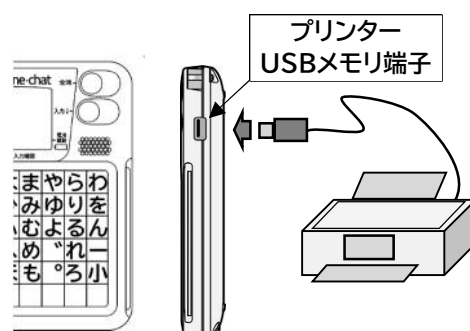
・エプソン製のプリンターで 2018 年以降に発売された下記表の機種のみ動作確認が取れています。それ以前の機種でも、一部機種については、設定を「2」「3」に変更することで印刷できる機種がありますが、動作確認が取れていないため保証外となります。

・印刷にはA4用紙をお使いください。

・本機とプリンターは直接USBケーブルで接続してください。
USBハブを経由した場合、印刷はできません。

・プリンターは必ず本機の「プリンター」の表記のある、
「正面向かって右側」の「プリンター USBメモリ端子」
に接続してください。

※プリンター接続時は、USBメモリは併用できません。



ファイン・チャット
右側面

■設定変更方法

- (1) 設定変更メニューで、P57:設定32「プリンター」を選択する。
- (2) 接続したプリンターに対応した設定番号に変更する。

●印刷対応プリンターと設定一覧表

設定番号	プリンターの品番
1 (初期設定)	EP-881A、EP-811A、EP-711A EP-882A、EP-812A、EP-712A、EP-982A3、EW-452A、EW-052A EP-883A、EP-813A、EP-713A、PX-049A
2	(過去機種、未確認のため「1」で動作しない場合に試してください)
3	

※初期設定値でお使いになる場合は、ご購入時の設定の変更は不要です。

(ご注意)ファイン・チャットでは用紙の最後まで印刷しても、自動で紙送りはできません。そのまま印刷を続けると、紙送りは実行されません。続けて印刷を行うときはファイン・チャットから「紙送り」のコマンドを実行してから印刷を行うことで対応できます。

お知らせ

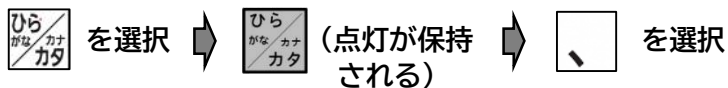
・いずれかの設定で印刷をして右記のような画面が出た場合、本機がプリンターの機種を正しく認識していないか、印刷のコマンドの様相が異なることが考えられます。その場合は、P57:設定32「プリンター」(上表参照)の設定を変更して、印刷を試してみてください。

印刷が
完了しませんでした
設定を変更してください

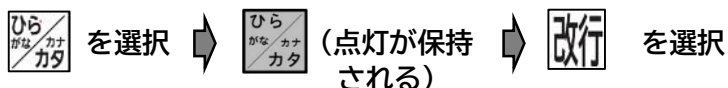
印刷方法


最初に印刷したい文章を作成してください。
プリンターに用紙をセットして、以下の操作を行います。

- 作成した文章を印刷する(印刷したところで止まります。紙送りはされません)



- 用紙を排出(紙送り)する



印刷、紙送りの命令は 24 ページ「との組み合わせ」参照

お知らせ

- ・印刷が終わっても、紙はプリンターにセットされたままになります。次の文章を作成し、同じ紙に続けて印刷することができます。
ただし印刷を続けた場合、本機では用紙の最後まで印刷したことを確認できないので、ある程度印刷したら紙送りを実行して次の用紙に印刷するようにしてください。
- ・プリンターのインクが無くなった場合、本機では確認できません。印刷がうまくいかない場合は、プリンターの取扱説明書に従い、インクを交換するか、ノズルチェックやクリーニングを実行してください。
- ・印刷完了の表示が出ても、プリンターが印刷動作中はUSBケーブルを抜いたり、本機を終了させないでください。
- ・印刷が失敗する場合は、プリンターの電源を入れ直してから再度印刷操作を行ってください。
- ・プリンターによっては、無操作の状態が一定時間継続すると省電力モードに入り、復帰に時間がかかるものがあります。このような場合には印刷操作が失敗することがありますが、再度印刷操作を行ってください。

スマートフォンによるデータ取り込み

本機では、作成した文章に相当する QR コードを生成して液晶画面に表示させることができます。この QR コードをスマートフォンで読み取れば、液晶画面の文章を丸ごとテキストデータとして取り込むことができます。テキストデータであれば、支援者がさらに文章を整えたり、メールに添付して他の方へ代わりに転送するなど、自由に扱うことができるようになります。

また、「スマホ印刷」に対応したプリンターであれば、そのテキストデータからプリンターに印刷することもできます。（スマホ印刷の方法についてはプリンターの取扱説明書を参照してください）

QR コードの表示と取り込み方法

文章を作成する

枠を選択

液晶画面にQRコードが表示される

こんにちは。いつもありがとうございます。



QR コードをスマートフォンで読み取ります。

お知らせ

- ・1つの QR コードには最大 320 文字までがデータとして表示されます。そのため作成した文字が 321 文字から 640 文字までの場合は液晶画面には QR コードが 2 つ表示されます。また、作成した文字が 641 文字から 960 文字までの場合は液晶画面には QR コードが 3 つ表示されます。順番にスマートフォンで読み取りつなぎ合わせる必要があります。

スマートフォンのアプリについて

iPhone、アンドロイドとも標準のカメラアプリでもQRコードを読み込むことができますが、その場合、スマートフォンの初期設定ではブラウザからホームページが開く設定になっていることが多く、使い勝手が良くありません。

QRコードで読み取った内容をすぐにテキストデータとしてコピーできるアプリの利用をお勧めします。

お勧めのアプリ(いずれも無料です)

●iPhone の場合

QR コード・リーダー : シンプルな QR コードリーダーアプリ	クルクル - QR コードリーダー

●Androidの場合

QR コードリーダー	クルクル - QR コードリーダー

外部出力機能

本機では、他の意思伝達装置(パソコンタイプ)やタブレット機器(iPad)等、ファイン・チャット同様に1つの入力スイッチで操作できる機器を最大2台まで接続し、本機から切り替えて操作することができます。この機能を活用することで、利用者が入力スイッチを持ち替えることなく、ファイン・チャットを含む3台の機器を自由に切り替えて操作することができます。

接続における特徴と注意点

ファイン・チャットには2つの外部出力ポートがあり、それぞれ端子の形状や信号の種類が異なります。以下の表にその特徴を示しています。

ポート名称	外部出力1	外部出力2
種類	MicroUSB	Φ3.5 モノラルケーブル
出力信号	(1)マウスの左クリック (2)ゲームパッドの「A」ボタン (デフォルト) (3)リターンキー (4)スペースキー (5)オペレートナビ(オペナビ)専用信号	接点出力信号
接続ケーブル (例)	■パソコン、iPad(Lightning 端子タイプ) マイクロ USB-B・USB-A 端子ケーブル ■iPad(USB-C 端子タイプ) マイクロ USB-B・USB-C 端子ケーブル	モノラルミニプラグ ケーブル(抵抗無しタイプ)
接続機器例※1	●オペレートナビ ●ハーティラダー ●iPad(iPad 側のアクセシビリティ機能を活用)	●伝の心 ●ワンキーマウス ●フックプラス

※1:接続機器は参考です。(2020年10月現在)それぞれの動作保証はしておりません。

接続先の機器の設定は弊社では行っておりません。支援者と相談してインターネット上から情報を入手するか、それぞれの開発製造元または販売店へご相談ください。

■接続時の注意

- 「外部出力1」または「外部出力2」を使って、他の機器を接続した場合、本機に接続された入力スイッチの入力操作信号をそのまま外部出力の先に接続された機器へ入力させることができます。これにより、本機を介して複数の機器(意思伝達装置、環境制御装置など)を操作することが可能になります。
本機が一般のパソコンのキーボード、マウスの代わりとなるわけではありません。
- 接続した先の機器側でも、入力スイッチを押し続ける動作がある場合は、本機の「長押し時間」の設定を、接続する先の機器の長押し時間よりも長く設定する必要があります。接続した機器が長押しを判断する以前に入力スイッチの信号が本機に切り替わるのを防ぐためです。
- 同様に、「連打ブザー」の設定で本機へ信号を戻せますが、連打の判断が接続した先の機器の操作に影響しないように注意してください。
- 本機の外部出力機能を用いた操作は、他の機器の動作を保証するものではありません。接続の際には、お客様の責任にて動作確認を行った上で利用してください。
- 接続先の機器についても、本体の仕様変更やソフトウェアの更新などが行われていきます。ファイン・チャットとの接続における工夫や最新情報は、アクセスエールのホームページで紹介していきます。必要に応じてご活用ください。

お知らせ

- ・2 スイッチステップスキャン方式で操作をする際の外部接続を行う機器について
2 スイッチステップスキャン方式で本機を操作している場合は、外部出力も2入力で操作できるようになっています。
2 スイッチステップスキャン方式のときは「外部出力1」と「外部出力2」の機能はそれぞれ入力スイッチ1と2と同じとなり、「2 スイッチステップスキャン方式での機器を1台」または「1入力方式の機器を2台」接続することができます。

接続の事例

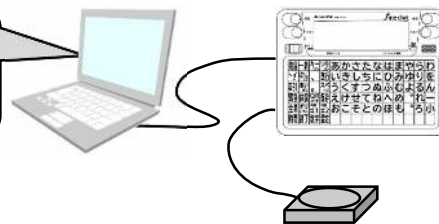
接続事例1)オペレートナビ(オペナビ)、ハーティラダー等の意思伝達装置を

接続する場合

■準備するもの

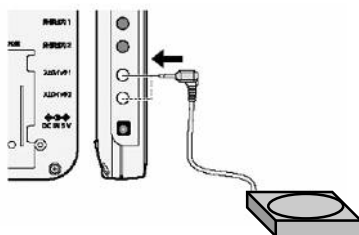
マイクロ USB-B・USB-A ケーブル:1本

オペレートナビ、
ハーティラダー等が
インストールされた
パソコン

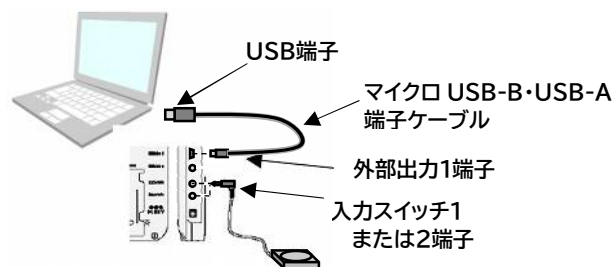


■接続方法

- ①接続したい機器の USB 端子(キーボードを接続するところ、機器によって端子は異なります)を確認します。
- ②利用者が操作する入力スイッチを本機の入力スイッチ1または 2 に差し込みます。
- ③「マイクロ USB-B・USB-A 端子ケーブル(市販品)」を使って、①で確認したパソコンのUSB端子と本機の外部出力1を接続します。



②ファイン・チャットに入力スイッチを接続



③マイクロ USB-B・USB-A 端子ケーブルを接続

■ファイン・チャット側の設定

- 55ページ:設定 22 外部出力 1 信号の種類を接続先の機器で受け取れる種類に変更します。
 - ・オペナビ(テクノツール社製)の場合:オペナビ
 - ・ハーティラダーの場合:ゲームパッド A、マウス左クリックなど(ハーティラダー側と設定を合わせてください)
 - ・その他の機器でも、本機からの信号を受ける側が認識できる信号に合わせてください
- 53ページ:設定 2「長押し時間」、55ページ:設定23「外部出力自動復帰時間」は利用者の使用状況に合わせてください。
(次の「接続した機器から本機へ戻るとき」を参照しながら設定してください)

■本機から接続した機器へ切り替えるとき

外部出1 を選択します。

■接続した機器から本機へ戻るとき

以下のいずれかの方法で操作対象を接続した機器から本機へ戻すことができます。

(方法1) 設定した時間の入力スイッチの長押し

長押し時間は0.5～15秒まで53ページ:設定2「長押し時間」で調整可能

(方法2) 設定時間内に設定回数、入力スイッチの連打(操作方法はブザーを鳴らす場合と同様)時間と回数の組み合わせは以下のいずれかから選択する。53ページ:設定8「連打ブザー」で選択

- ①なし(方法2は使わない場合)、②1.0秒以内に3回、③1.0秒以内に4回、④2.0秒以内に4回、⑤2.0秒以内に5回

(方法3) 一定時間で自動復帰(外部出力復帰時間)

外部出力へ切替後、一定時間スイッチ操作が無いと、自動的に本機へ操作対象を戻す。

55ページ:設定23「外部出力自動復帰時間」で選択

- ①なし(方法3は使わない場合)、②30秒、③1分、④2分、⑤3分、⑥4分、⑦5分

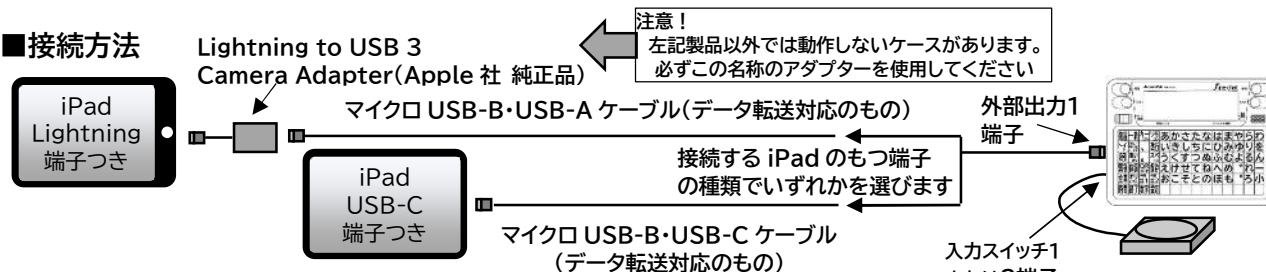
方法3では、自動復帰の10秒前から警告音が鳴りますが、この間に入力スイッチを押すと、自動復帰は中断され、外部出力での操作が継続します。

接続事例2) iPad(Apple 社製)を接続する場合

■準備するもの

	iPad の端子形状	準備する機材
①	Lightning 端子	マイクロ USB-B・USB-A ケーブル(データ転送対応のもの) Lightning to USB 3 Camera Adapter(Apple 社純正品)
②	USB-C端子	マイクロ USB-B・USB-C ケーブル(データ転送対応のもの)

■接続方法



■ファイン・チャット側の設定

- 55ページ:設定 22「外部出力 1 信号」で「スペースキー」を選択します。
- 53ページ:設定 2「長押し時間」、55ページ:設定23「外部出力自動復帰時間」は利用者の使用状況に合わせてます。

■iPad 側の設定

- (1)「設定」→「アクセシビリティ」→「スイッチコントロール」→「スイッチ」→「新しいスイッチを追加」→「外部」で「外部スイッチをアクティベートしてください」の表示が出たら、ファイン・チャットで外部出力1を選択、入力スイッチを押して iPad に登録します。
- (2)「設定」→「アクセシビリティ」→「スイッチコントロール」で「スイッチコントロール」をONにすればファイン・チャット側の入力スイッチで iPad のスイッチコントロール機能が利用可能となります。

■本機と接続した機器との切替は「接続事例1」と同じ方法で行います。

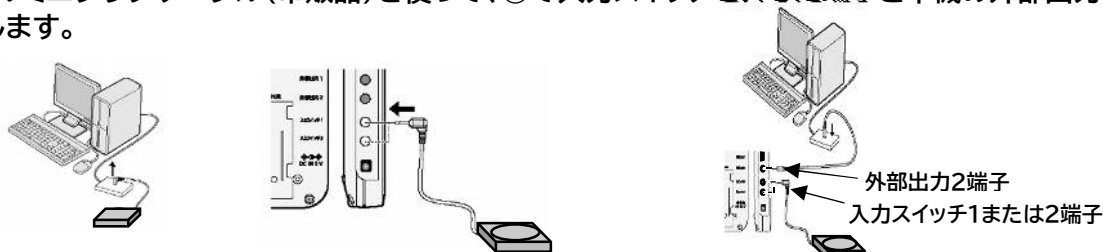
お知らせ

・iPad の設定や使い方のサポートについて弊社で行うことができません。アップル社のホームページやその他のインターネットの情報を活用して利用してください。

接続事例3)外部接続する機器に入力スイッチを直接接続する端子がある場合

■接続方法

- ①接続したい機器に入力スイッチを接続してある場合は入力スイッチを外します。
- ②利用者が操作する入力スイッチを本機の入力スイッチ1または 2 に差し込みます。
- ③モノラルミニプラグケーブル(市販品)を使って、①で入力スイッチを外した端子と本機の外部出力2を接続します。



- ①入力スイッチを外す、②ファイン・チャットに入力スイッチを接続、③モノラルミニプラグケーブルを接続

■本機から接続した機器へ切り替えるとき

外部出2 を選択します。

- 接続した機器から本機へ戻るとき「接続事例1」と同じ方法で戻ることができます。

お知らせ

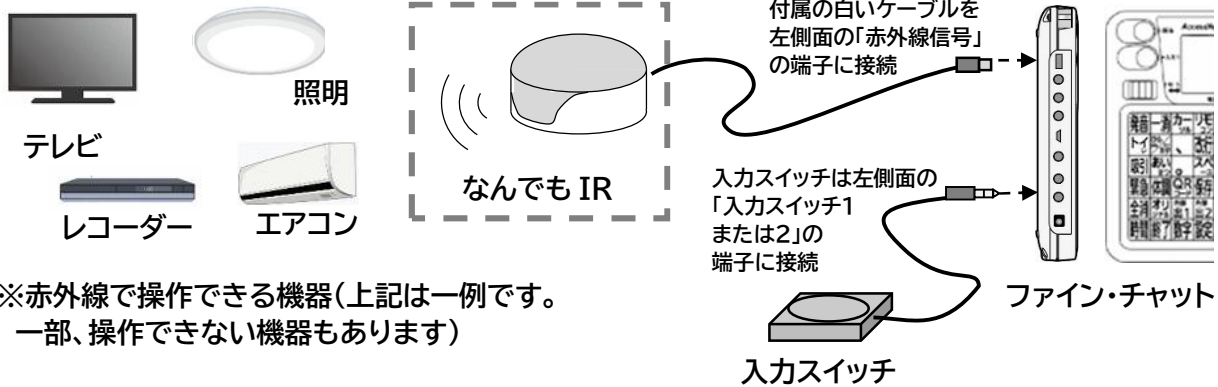
接続事例3で利用する機器の例としては以下のものがあります。詳細は各製品のホームページなどをご覧ください。

- フックプラス(パシフィックサプライ)
- できマウス S2。(できマウスプロジェクト)
- i+pad タッチャー(アシステック) など

環境制御機能

接続方法

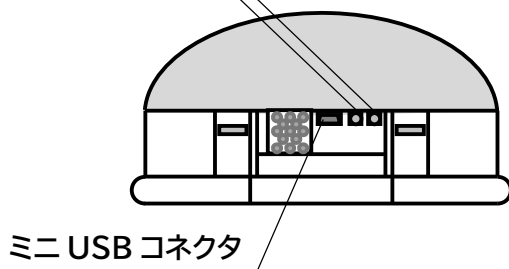
環境制御機能の実施にはファイン・チャットに「なんでも IR」を接続することが必須です。その上で、設定を行うことで赤外線信号を発信できるようになります。



※赤外線で作動できる機器(上記は一例です。一部、作動できない機器もあります)

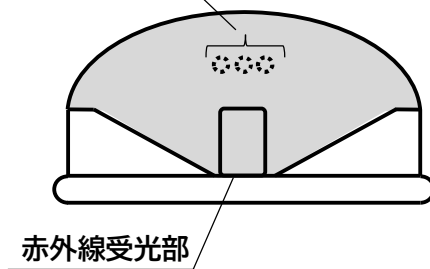
■なんでも IR の各部の名称とはたらきについて

エミッター(使用しません)



●ミニUSBコネクタ
ファイン・チャットのUSB端子(赤外線信号の表記の端子)と付属のUSBケーブルで接続します。

状況表示LED(左から緑、青、黄)



●状況表示LED
下記のように「なんでもIR」の作動状況を示します。

青色LED	USBより電源が供給されたときに点灯
緑色LED	リモコン信号の発光時に点灯
黄色LED	赤外線信号の学習待ちの時に点灯

2種類の赤外線信号について

本機の信号の登録は以下の2種類の方法があります。

機能	対応信号	信号数	メリット	デメリット
プリセットリモコン	テレビのみ(メーカー限定)	各メーカーあたり7つ(電源、チャンネルアップ/ダウン、音量アップ/ダウン、アンテナ切替、入力切替)	メーカーだけ合わせればすぐに操作可能	本機の出荷時に登録済の信号以外は発信不可能
学習リモコン	赤外線で作動できる機器	60個(信号と名称の登録が可能)	機種によらず学習して操作可能	登録が手間

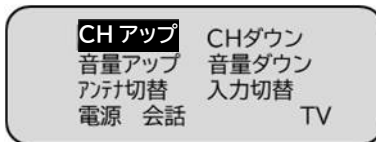
以下、それぞれの登録、操作方法を説明します。

プリセットのテレビ操作画面

56ページ:設定 30「環境制御機能」の選択肢で「会話とテレビ(出荷状態)」または「テレビのみ」を選択した場合、リモコンの操作対象は「プリセットのテレビのみ」となります。
液晶画面に「チャンネルアップ、チャンネルダウン…」と順次スキャンされるので、操作したい項目を選択することで、テレビの操作ができます。

■「会話とテレビ」→スキャンで  を選択

■「テレビのみ」→ スリープ状態から
入力スイッチの長押しで起動



液晶画面が切り替わり、選択項目を決定する

対応メーカーは下の表の6社・7種類です。56ページ:設定 28「テレビメーカー」でメーカーを選択します。下記に無いテレビメーカーやその他の信号を発信したい場合は、41ページの学習リモコン機能で対応します。

対応可能なメーカー一覧(2020年10月現在)^{※1}

NO.	メーカー
1	パナソニック A
2	パナソニック B(プライベートビエラ対応) ^{※2}
3	シャープ
4	ソニー

NO.	メーカー
5	東芝
6	日立
7	三菱
8	なし(使用しない) ^{※3}

※1:各メーカーとも2010年以降の機種のみに対応

ただし、対応メーカーでも一部未対応のものもあります

※2:パナソニックBには「入力切替」の信号はありません。

※3:上記表のメーカーで「8.なし」を選択していれば、P56:設定30「環境制御機能」で「会話と学習リモコン」「学習リモコンのみ」に設定した場合、リモコンの操作の中で、このテレビ操作画面はスキップされます。

テレビ操作画面での操作項目は以下の9項目です。

テレビ操作内容一覧

No.	信号名称	機能
1	チャンネルアップ	チャンネルを選ぶ
2	チャンネルダウン	
3	音量アップ	音量を上げる
4	音量ダウン	音量を下げる
5	アンテナ切替	地デジ、BS、CS が順番に切り替わる BS、CS が不要の場合は、設定で信号を発信しないようにできる ^{※1}
6	入力切替	テレビ、レコーダー、外部入力などへ切り替える
7	電源	テレビの電源を入れる/切る
8	戻る	学習リモコンの選択に戻る (56 ページ 設定 30:環境制御機能で「学習リモコン」を選択した場合)
9	会話(終了)	会話に戻る(「会話とテレビリモコン」の場合に表示される) (「テレビのみ」の場合は終了と表示され、スリープ状態となる)

※1:56ページ:設定 29「テレビアンテナ」にてアンテナ切替の項目を選択可能

お知らせ

- 上記メーカーの製品であっても一部機能が操作できない場合があります。
- DVD 付きのテレビなど、複合機は操作できない場合があります。
- ケーブルテレビチューナーのチャンネル変更はできません。
- テレビ側の「リモコンコード」を変更している場合は出荷状態の設定に戻してください。プリセット機能の信号は出荷時のリモコンコードのみに対応しています。

学習リモコンの操作画面

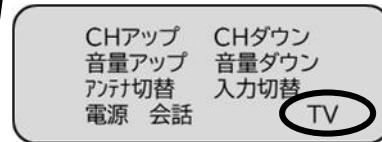
56 ページ:設定 30「環境制御機能」の選択肢で「会話と学習リモコン」または「学習リモコンのみ」を選択した場合、入力スイッチの操作で事前に登録したリモコン信号(最大 60 個)を発信することができます。この場合、最初にプリセットのテレビメニューが表示され、次に登録されている学習リモコンのメニューのグループが表示されます。

■設定30「環境制御機能」

の設定が「会話と学習 → スキャンでリモコン」を選択



学習リモコンのグループ 1 へ



■設定30「環境制御機能」

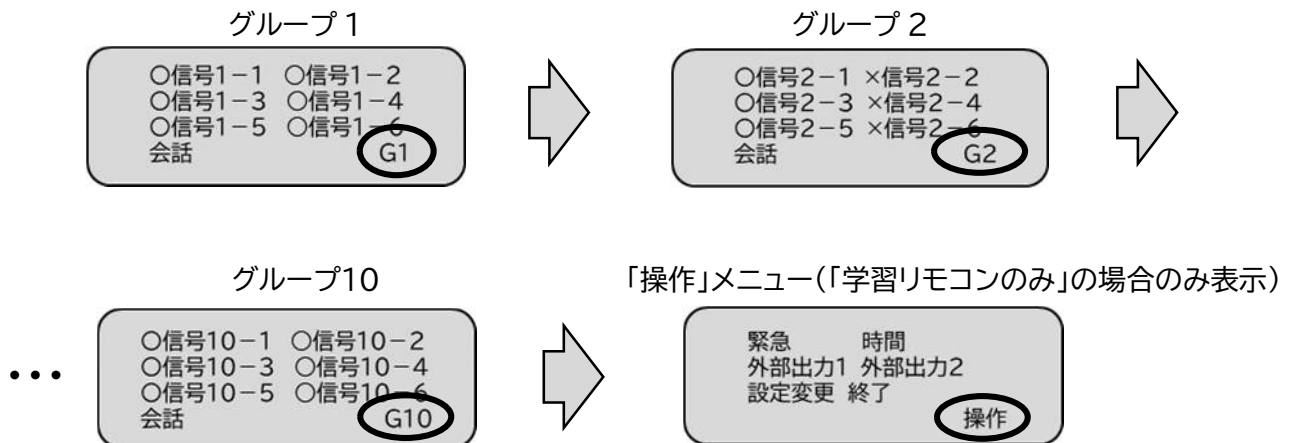
の設定が「学習リモコン → スリープ状態から入力スイッチの長押しで起動のみ」

最初は上記のテレビ操作の画面を表示ここで入力スイッチを押すとプリセットのテレビ操作となる

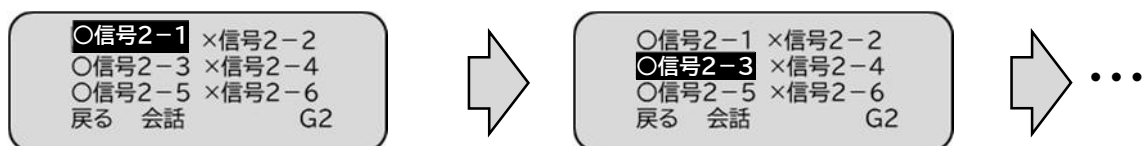
お知らせ

購入直後や環境設定初期化をした時などは、学習リモコンの信号は全く登録されていないので、グループが一切表示されません。先に学習リモコンの信号登録を行う(43ページ)必要があります。

以後、グループ1～グループ10までの(登録があるグループのみ)信号一覧が順次表示されます。まず、操作したい信号のあるグループを選択、次に選択したグループにある 6 つの項目から操作したい信号を選択します。



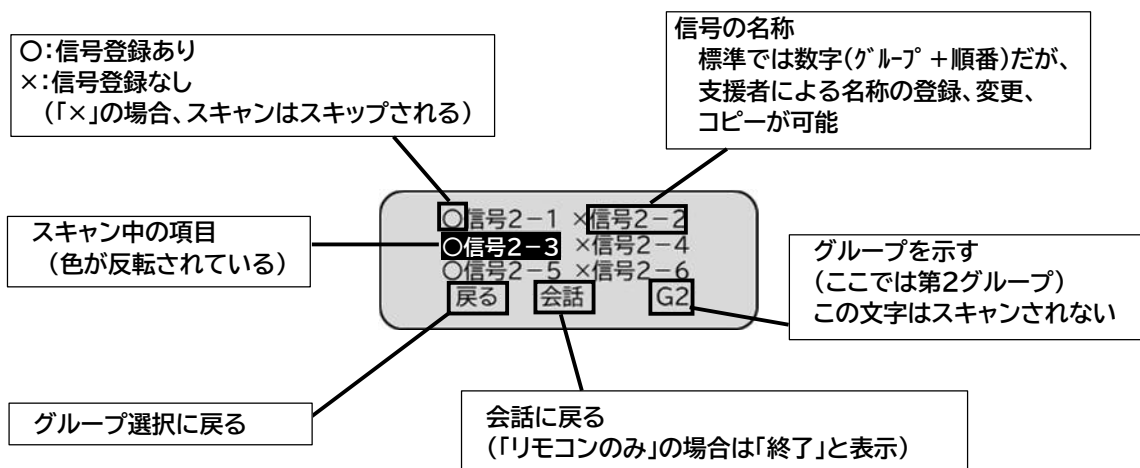
例えば、上記「グループ 2」が表示された時に入力スイッチを押すと、その中から発信したい信号を選択できます。



※上記の例では、「信号 2-2」は「×」がついており、信号が登録されていないのでスキャンがスキップされます。「信号 2-4、2-6」も同様にスキップしてスキャンされます。

「○信号 2-3」が色反転したときに入力スイッチを押せば、そこに登録してある信号が発信されます。

■信号選択画面の説明



学習リモコンでエアコンを操作するときの注意

一般的なエアコンのリモコン信号は非常に複雑で、一つの操作ごとに、「冷暖房のモード、温度、風量、風向」などの「すべての情報がまとめて本体に送信」されます。

そのため、単純に「温度を 1℃上げる/下げる」に相当するリモコン信号は存在せず、同様に信号の登録もできません。

よって、学習時には「冷暖のモード、温度、風量、風速、その他」を一括した学習のみを行うこととなります。

(事例)

エアコンの「暖房・18℃・風量弱」で運転時に、本体付属リモコンの「温度を(1℃)上げる」のボタンを押すと、エアコン本体には「温度を1℃上げる」ではなく、「暖房・19℃・風量弱」という状態にする命令の信号が送信されます。

(課題)

上記のように支援者が冬の暖房運転時に本体付属リモコンの「温度を1℃上げる」のボタンを押して本機の学習リモコンに学習させた場合、利用者が夏の冷房運転時に「温度を1℃上げる」の枠を選択すると、エアコンは「冷房で温度を1℃あげる」ではなく、「暖房・19℃・風量弱」の運転に切り替わってしまいます。

(解決策)

学習リモコンにエアコンの信号を登録する場合には、できるだけ「運転オート(冷暖も自動で設定)」や「風量オート」などの自動モードで登録して、自動モードの信号でエアコンを運転/停止させることをお勧めします。

やむを得ず細かい設定を登録される場合は運転モード(冷房、暖房、除湿)と温度、風量設定のすべてを含めた登録をメモしておいて、本機の利用者が常に運転状況を理解できるようにするなどの対策を行ってください。

お知らせ

- すべてのエアコンが上記の仕様となっているわけではありません。信号登録時に実機の動作を確認しながら、どのような信号を登録するべきか、支援者の方が確認してください。
- ストーブをはじめとした火器類を使った暖房設備は万一の誤動作で火災の恐れがありますので、本機では絶対に操作を行わないようにしてください。

支援者による信号登録手順

支援者によるリモコン信号の登録に入るには、支援者が「赤と緑を押しながら電源を入にする」ことで「学習リモコン設定」モードとなります。

信号設定 名称設定 終了

黄: 赤:終了
青:次へ 緑:決定

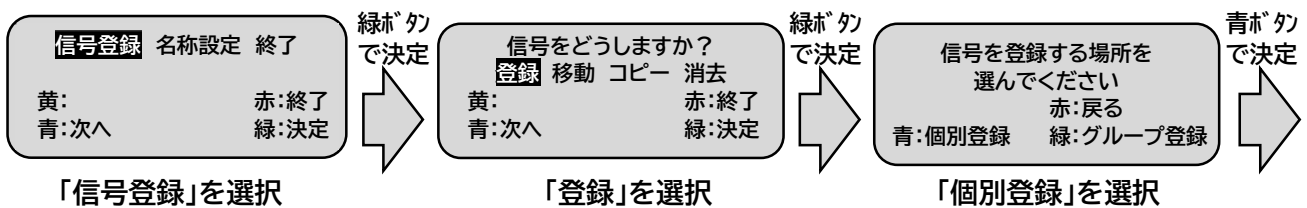
ここで青、黄、緑、赤の4つのボタンを使って項目を選択、決定することで「信号」「名称」を確定させることができます。

学習リモコン設定モードの初期画面

支援者がファイン・チャット本体の4つのボタンを用いて、以下の作業を行うことができます。

- 赤外線信号 … 登録、消去、コピー、移動
- 赤外線名称 … 登録、消去、コピー、移動

■赤外線信号登録方法(個別登録)



G1 ○信号1-1 ○信号1-2
○信号1-3 ○信号1-4
○信号1-5 ○信号1-6
黄:前グループへ 赤:戻る
青:次グループへ 緑:決定

グループを選択

G10 ○信号10-1 ○信号10-2
○信号10-3 ○信号10-4
○信号10-5 ○信号10-6
黄:前グループへ 赤:戻る
青:次グループへ 緑:決定

グループ1~10のいずれか登録したいグループを選択
例としてグループ2が表示されたところで緑ボタンで決定

→(例)グループ2を選択した場合

G2 ○信号2-1 ○信号2-2
○信号2-3 ○信号2-4
○信号2-5 ○信号2-6
黄:前信号へ | 登録先 | 赤:戻る
青:次信号へ | 選択中 | 緑:決定

グループ内の番号を選択

G2 ○信号2-1 ○信号2-2
○信号2-3 ○信号2-4
○信号2-5 ○**信号2-6**
黄:前信号へ | 登録先 | 赤:戻る
青:次信号へ | 選択中 | 緑:決定

いずれかのボタンを押して登録開始

信号2-1~2-6のいずれか登録したい信号を選択
例として信号2-6が表示されたところで緑ボタンで決定

→(例)信号2-6を選択した場合

「信号2-6」の信号を登録します
登録するリモコンを手元に用意して
いずれかのボタンを押してください

いずれかの
ボタンを押す

青ボタンを押した後、
なんでもIRの先端の黄色のLED
が点灯したら登録させたい
リモコンの信号ボタンを押します
青:登録実行 赤:戻る

ここで、登録したいリモコンの
ボタンを確認、次の図の
ようにリモコンの信号
発信部となんでも IR の
受光部を向かい合わせにする



青ボタ
を押す

リモコン信号登録中

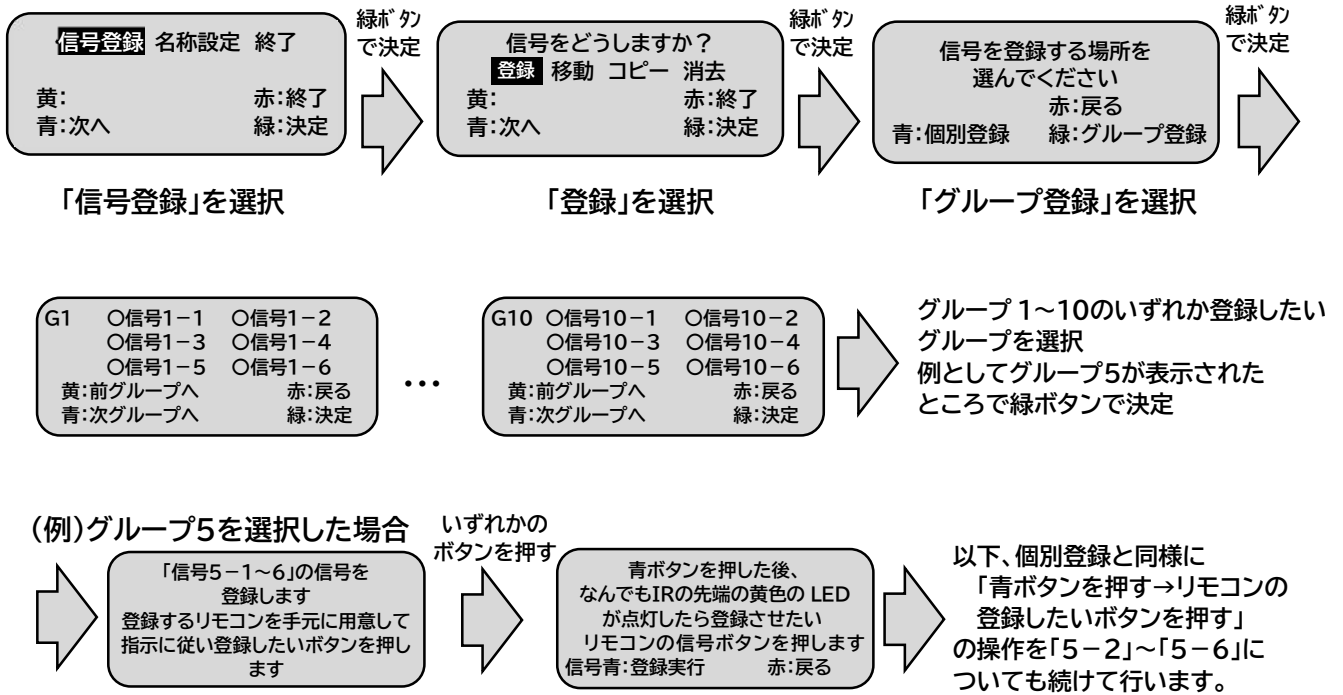
上記の表示が出て、「黄色のLED」が点灯したら「学習待ち状態」を示しているため、登録したいリモコンのボタンを普通に操作するときと同様、1回だけ押して離す

「信号2-6」の登録が完了しました
青:信号確認(発信)
緑:決定 赤:再登録

信号の学習が完了すると自動的に上記の表示になる。
信号確認(青)、決定(緑)、再登録(赤)のいずれかのボタンを押して次へ進む

■ 赤外線信号登録方法(グループ登録)

登録できる赤外線信号は 60 個と多いため、1 つずつ登録すると時間がかかります。
「グループ登録」を使うことで 1 つのグループ(6個)を一度に登録することができます。
以下、学習リモコン設定モードの初期画面からスタートします。



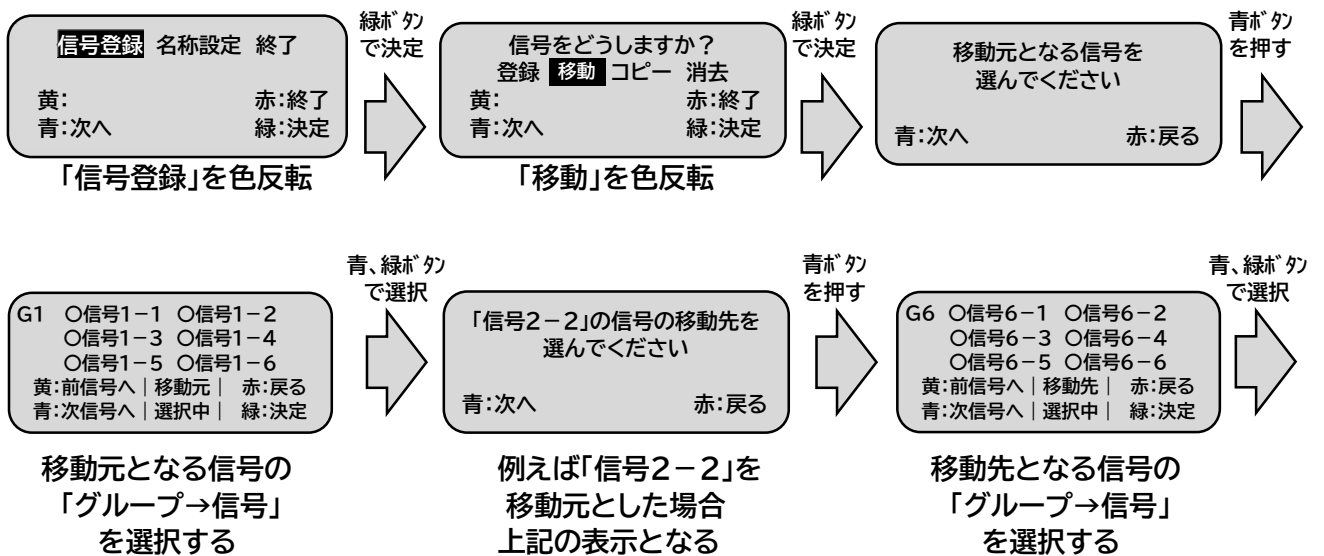
この操作であれば、効率よく複数のリモコン信号の登録が可能です。

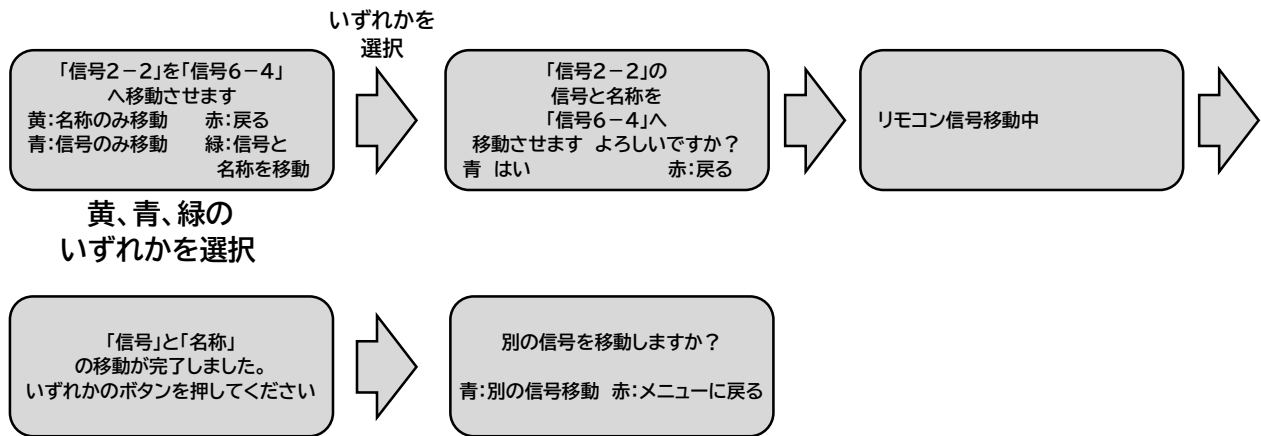
お知らせ

リモコン信号は「登録が完了しました」と表示されれば、本機の主電源を切っても信号は保存されます。

■ 赤外線信号の移動、コピー方法

学習リモコン設定モードの初期画面からスタートします。

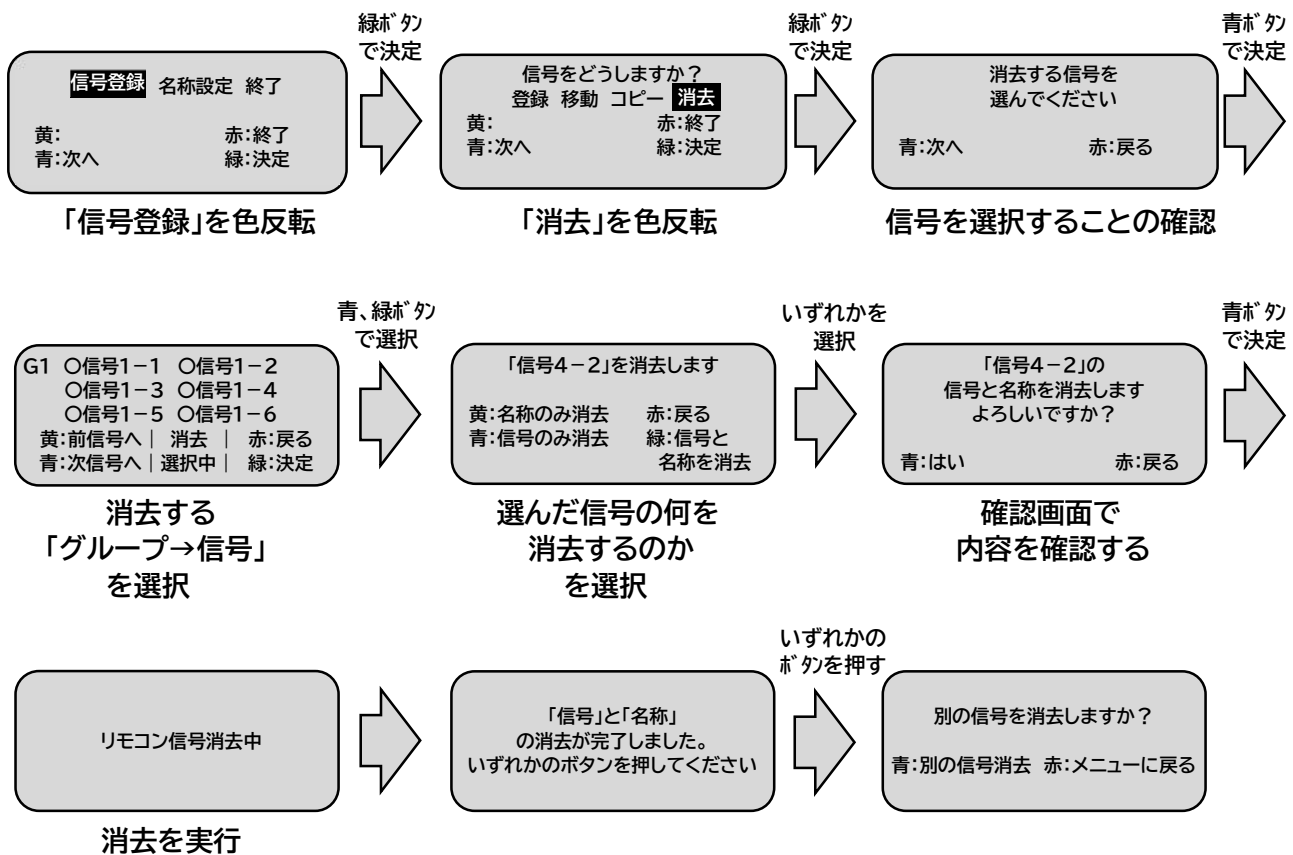




「コピー」では、本手順の「移動」が「コピー」と表示されるだけで同じ手順で行えます。

■赤外線信号の消去方法

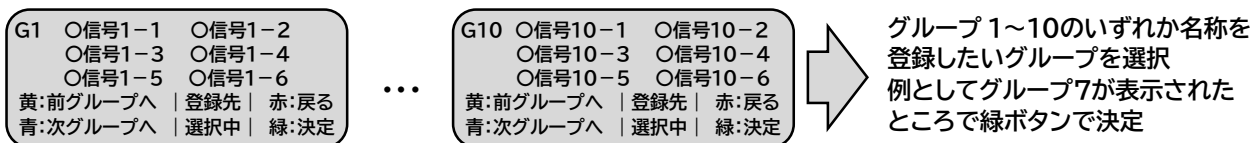
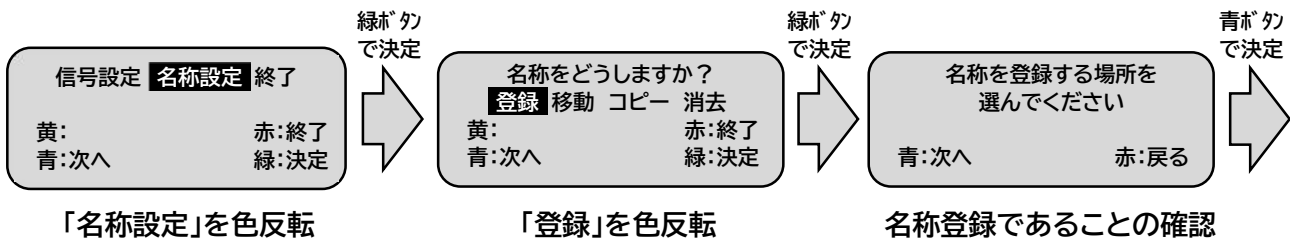
学習リモコン設定モードの初期画面からスタートします。



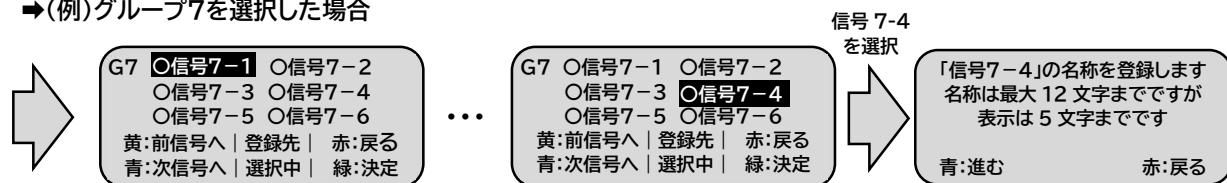
支援者による名称登録手順

■名称登録

学習リモコン設定モードの初期画面からスタートします。



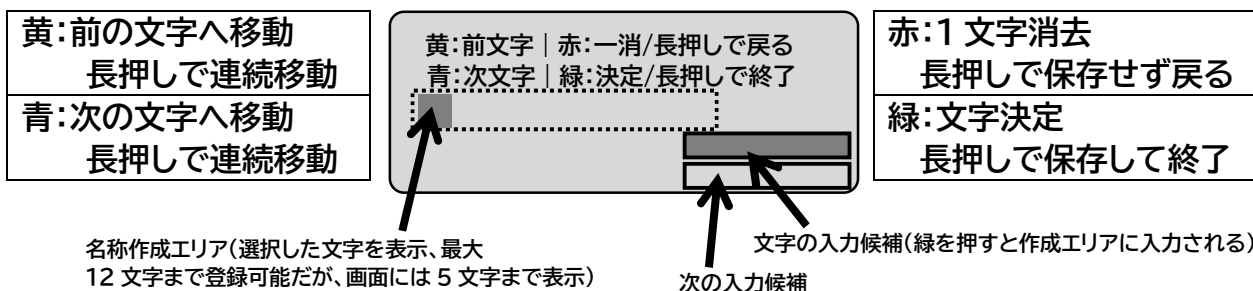
→(例)グループ7を選択した場合



青ボタンを押す

以下のように画面が切り替わります。
4つのボタンを操作して、信号の名称を作成します。

<名称作成画面のレイアウトとボタンの役割>



■登録できる文字、単語は以下の246種類です。

文字	例
ひらがな	ひらがな、濁音、半濁音、小文字等 合計76文字
カタカナ	カタカナ、濁音、半濁音、小文字等 合計76文字
数字、アルファベット	0~9、A~Z 合計36文字
単語	テレビ、エアコン、電源、上、下、青、黄、ON、OFF など 合計58文字

■名称の「移動」、「コピー」、「消去」は信号の「移動」、「コピー」、「消去」と同じ手順で行います。

バッテリー駆動時の工夫

本機では、以下の 3 つの電源方式があり、それぞれの持ち時間があります。

使用電源		内容	連続駆動時間※
1	AC 電源	家庭用100V コンセント	(制限無し)
2	乾電池	単 3 型アルカリ乾電池 4 本 (パナソニック製エボルタ乾電池)	約 8 時間
		単3型充電電池 4 本(パナソニック製エボルタ充電電池 スタンダードモデル 1900mAh)	約 8 時間
3	モバイル バッテリー	Anker PowerCore+ mini(3350mAh)	約 9 時間
		Anker PowerCore1000 Redux(10000mAh)	約 24 時間

※連続駆動時間は出荷状態の設定で、テストモードにてオートスキャンを回数制限なしで動作させた際の平均駆動時間です。液晶バックライトの明るさやスピーカーからの音量の設定によって変わります。また、乾電池やモバイルバッテリーは劣化に伴い駆動時間も減少します。

主電源を「入」にしていれば、利用しないときはスリープ状態となり、いつでも入力スイッチだけで本機を ON にして、会話を始めることができます。

ただし、その際は本機内部では常に少量の電力を消費します。そのためスリープ状態であっても乾電池のみによる使用では約24時間で駆動しなくなります。

常に主電源を「入」にして利用する際は AC 電源または大容量(10000mAh 以上)のモバイルバッテリーをつないで利用することをお勧めします。

なお、モバイルバッテリーは「Anker ジャパン社」製のみ動作確認しております。(2020 年 10 月現在) その他のメーカーのモバイルバッテリーでの動作確認はできておりません。

お知らせ

・通常、モバイルバッテリーは一定時間、電力消費が無い場合、モバイルバッテリー自体がスリープ状態となり、モバイルバッテリー側の起動ボタンを押さないとモバイルバッテリーから電源供給がされません。

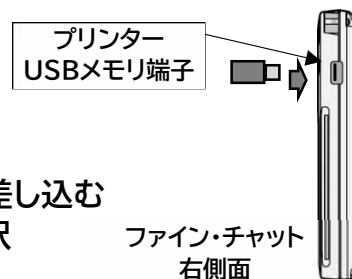
そのため短時間でモバイルバッテリーがスリープとなる場合は、56 ページ:設定 27「自動スリープ」で「自動スリープあり(または、なし)/モバイルバッテリー(MB)対応」を選択します。この設定では本機が約5秒に 1 回、内部で大きめの電力を瞬間的に消費することで接続したモバイルバッテリーがスリープするのを防ぐことができます。(モバイルバッテリーの機種により対応していない場合もあります)

・設定の「スリープあり(MB 対応)」では通常の「スリープあり」よりもスリープ時に電力を多く消費します。よって、本機がスリープした後にモバイルバッテリーもスリープしてしまう時のみ 56 ページ:設定 27「自動スリープ」で「自動スリープあり(または、なし)/モバイルバッテリー(MB)あり」の設定で利用、モバイルバッテリーがスリープしないようにします。

本機がスリープしてから時間が経過してもモバイルバッテリーがスリープしない場合以外は 56 ページ:設定 27「自動スリープ」で「自動スリープあり(または、なし)/モバイルバッテリー(MB)なし」の設定で利用しても大丈夫です。

USB メモリによるデータの管理

本機では、「設定」「保存文章」「リモコン信号」の3つの設定項目をUSBメモリに保存したり、USBメモリから読み込むことができます。これにより、ファイン・チャットのデータをバックアップして保管したり、別のファイン・チャットへ移すことができます。



① USBメモリを本機の右側面の「プリンターUSBメモリ端子」に差し込む

② 支援者が設定変更メニューへ入り、設定36「USBメモリ」を選択
(49ページ 起動方法一覧 No.2 設定変更を参照)

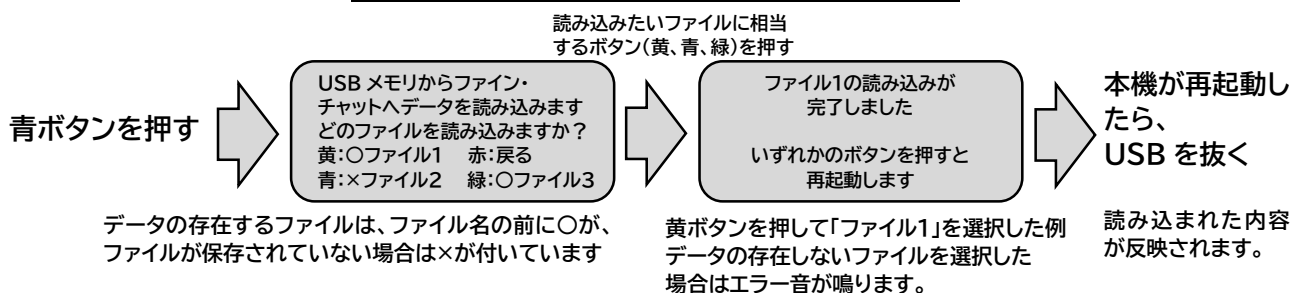
③ データの読み込み、書き込みを選択

USBメモリが認識されない場合は、警告が出てメニューに戻ります。
USBメモリが認識されるものの本機用にフォーマットされていない場合は、フォーマットすることの確認画面が出ます。
指示に従い、フォーマットを行ってください。

データをどうしますか？
青: USBメモリからの読み込み
緑: USBメモリへの書き込み
今回変更した内容は含まれません
赤: メニューへ戻る

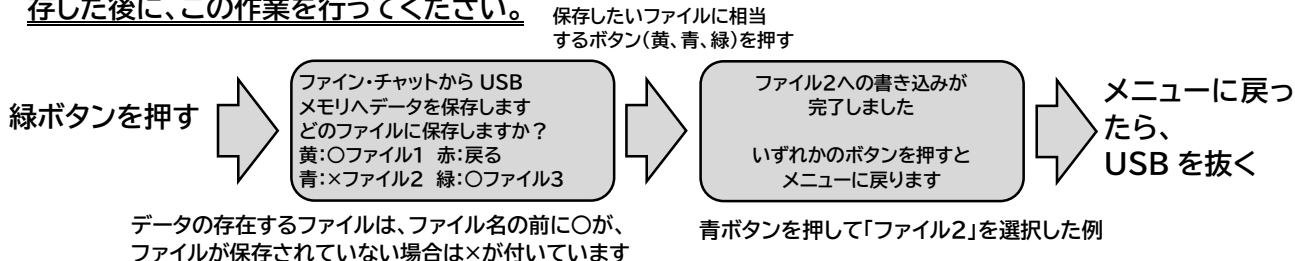
④ データを読み込む場合は青ボタンを押す

データを読み込んだ後には必ず本機は再起動します。
ここでデータを読み込むと、それまでの本機の保存データはすべて破棄されるのでご注意ください。



⑤ データを保存する場合は緑ボタンを押す

設定変更メニューに入ってから変更した設定はまだ本機に保存されていないので、そのままこの手順に入っても反映されたデータは保存されません。先に57ページ:設定41「設定終了」で設定内容を保存した後に、この作業を行ってください。



お知らせ

- ・利用するUSBメモリは本機専用として準備してください。本機用にフォーマットすると、以後、パソコンなどでは認識されません。
- ・利用できるUSBのメモリ容量は512MB～16GBまでです。
(まれに、本機に接続しても認識できないUSBメモリもあります。その場合は恐れ入りますが別のUSBメモリを試してください)
- ・「設定」「保存文章」「リモコン信号」のそれぞれを個別に保存することはできません。
- ・ファイルは3つまで保存できます。コピー、移動、個別の消去はできません。
- ・ファイル名を付けることはできません。別途メモを取るなどで内容を覚えておいてください。
- ・バグ修正に関する情報は今後弊社ホームページに掲載していきます。定期的に弊社HPをご覧ください。お勧めします。

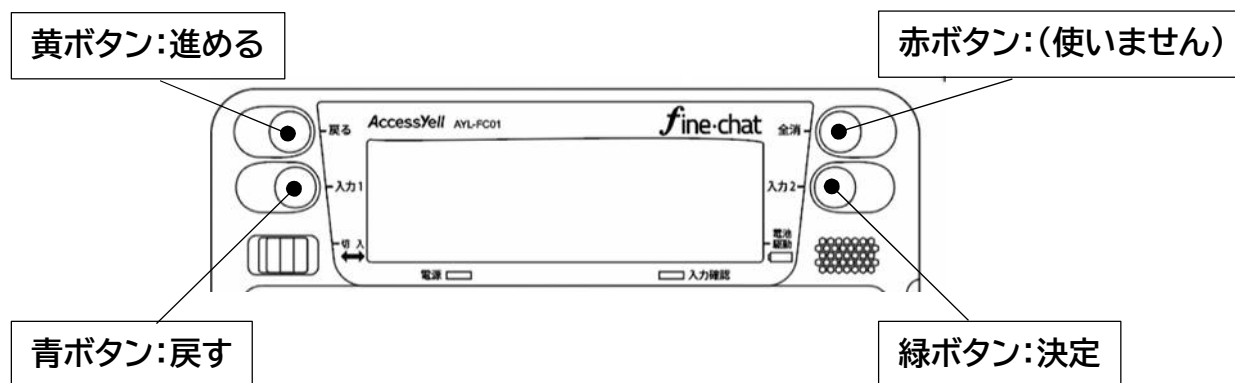
起動方法一覧

No.	起動内容	起動手順	内容
1	通常起動	青ボタンまたは緑ボタン	利用者による通常の利用で操作
2	設定変更	「赤ボタン」を押しながら主電源を ON	支援者が設定変更を行う際に実行する ➡ 51ページ
3	文章作成／保存	「黄ボタン」を押しながら主電源を ON	支援者が素早く文章を作成する ➡ 32 ページ
4	時間設定	「赤および黄ボタン」を押しながら主電源を ON	支援者が日時設定を行う ➡ 49ページ
5	学習リモコン登録	「赤および緑ボタン」を押しながら主電源を ON	支援者がリモコン信号の登録や名称設定を行う ➡ 43ページ
6	バージョン確認	「青および緑ボタン」を押しながら主電源を ON	ソフトウェアのバージョンを確認する
7	プログラムアップデート	「4 つのボタンすべて」を押しながら主電源を ON	ソフトウェアの修正、アップデートを行う 詳しくは今後、弊社HPにて案内予定

日時設定について

本機で読み上げる日時の設定は4つのボタンで素早く日時設定ができます。

- ① 主電源を【切】の状態にする。
- ② 黄ボタンと赤ボタンを押しながら電源を【入】にする。
 - ・「日時設定モード」➡「基本的なスイッチ操作」と順番に画面が切り替わります。
 - ・年 月 日 時間 分と順番に点滅していきますので、調整してください。



お知らせ

- ・日時設定の途中で無操作が1分間続くと、「あと〇秒入力が無ければスリープに移行します」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的にスリープ状態となります。スリープ状態になる前に、いずれかのボタンを押すと、「日時設定モード」が継続されます。これは、何らかの理由で支援者が途中で作業を中断しても、自動的に利用者へ操作機能を戻すためです。
- ・日時設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。本機動作中は内蔵電池が充電されます。約24時間の充電で約2ヶ月間時計設定を記憶できます。(本機がスリープモードでも充電しています。)

設定の変更方法と設定項目

設定変更を行う方法は以下の3つがあります。

それぞれの内容をよく読んで、適切な設定でお使い頂くようお願いいたします。

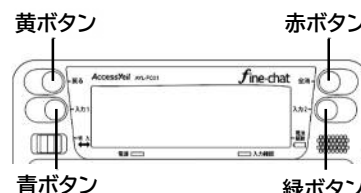
- (1) 支援者によるクイック設定モード
- (2) 支援者による設定変更
- (3) 利用者による設定変更

支援者によるクイック設定モード

本機には「スキャン速度／スピーカー音量／長押し時間／液晶明るさ／液晶コントラスト」の5項目を簡単に変更することができる「クイック設定モード」があります。

支援者が簡単に設定を変更できますので、大変便利です。

- ・通常動作中(液晶のバックライトは点灯、文字板の赤色のランプが光っていないとき)に行います。



①赤ボタンと黄ボタンを同時に2秒以上押し続ける。

- ・「クイック設定モード」になります。「クイック設定」という音声が流れます。しばらく右記のような画面が表示されます。
- ・読み上げ中にボタンを押すと、「プツ」という音が鳴り、次の画面へ移動します。

クイック設定モード
スキャン速度/スピーカー音量/
長押し時間/液晶明るさ/液晶
コントラストを変更します

②スキャン速度を変更する。

- ・文字板の赤いLEDが設定されているスキャン速度で点灯してスキャンします。(数値は一例です)
- ・黄ボタン(速度を速くする)または青ボタン(速度を遅くする)を押して、設定を変更します。「プツ」という確認音が鳴ります)設定を変更すると、画面右上の数値が変わります。同時に、文字板の赤いLEDが変更された設定で点灯・スキャンします。
- ・緑ボタンを押して決定し、次の画面へ移動します。変更がない場合は、赤ボタンを押して次の画面に移動します。

スキャン速度(1~17)
現在 6 → 変更後 6
黄▲速く 赤▶変更なし
青▼遅く 緑●決定

③以下、同様に「スピーカー音量／長押し時間／液晶明るさ／液晶コントラスト」を変更する。

- ・各項目を液晶画面の指示に従い、4色のボタンを押して設定を変更します。

④クイック設定モードを終了する。

- ・スキャン速度、スピーカー音量、液晶明るさの変更後の数値が画面に表示されます。
- ・変更がなくてもそれぞれの設定が5秒間表示されます。その後、自動的に通常動作に戻ります。

スキャン速度	7	で保存
スピーカー音量	4	・終了
長押し時間	2	します
液晶明るさ	3	
液晶コントラスト	6	

お知らせ

・クイック設定の途中で無操作が1分以上続くと、「あと〇秒入力が無ければ通常動作に戻ります」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的に通常動作に戻ります。

クイック設定モード中は、本機の通常動作ができなくなるので、放置したままになるのを防ぐためです。

・より詳細な設定は51ページの「支援者による設定変更」、52ページの「利用者による設定変更」をご覧ください。

支援者による設定変更

支援者が本機の4つのボタンを使って行います。

この方法では、設定状態に関わらずステップ入力方式になります。通常の色ボタン、緑ボタンに加え、赤ボタン、黄ボタンの4つのボタンを使って設定変更を行うことができます。

各色ボタンの機能は以下のようになります。

黄ボタン: 次の選択項目(または選択肢)へ移動

赤ボタン: 57ページ: 設定41「保存/終了」へ移動



青ボタン: 次の選択項目(または選択肢)へ移動

緑ボタン: 決定

- ① 電源【切】からはじめます。
- ② 赤ボタンを押しながら電源を【入】にします。
- ③ 「設定変更」という音声流れ、設定変更メニューの画面に切り替わります。以後「設定変更メニュー」の指示に従い設定を変更します。
- ④ 上記方法で設定変更メニューに移行すると、右図のように液晶画面に設定変更項目が表示されます。
- ⑤ 青ボタン(黄ボタン)を押すごとに、設定項目が一つ上がる(下がる)ので、変更したい設定項目が反転している状態で緑ボタンを押すと、その項目の設定内容変更画面になります。
右図は一例として「1: スキャン速度の設定内容変更画面」を示します。
2行目には1行目の設定項目の内容が簡単に記載されています。
3行目、4行目は次とさらにその次の設定項目が記されています。
- ⑥ 設定内容変更画面では、青ボタンを押すごとに設定変更候補が順番に切り替わるので、変更したい項目が反転している状態で緑ボタンを押すことで設定を変更することができます。
・黄ボタンを押すと、④の設定変更メニュー画面に戻ります。
・赤ボタンを押すとその時点で全ての設定を保存して終了する画面へ移動します。
- ⑦ 赤ボタンを押すか、「終了」を選ぶと、右のような保存を確認する画面に切り替わりますので、変更した内容を反映させるには必ず「はい」を選択して保存してください。

1 スキャン速度 7(0.8秒)

赤いLEDランプの移動速度

2 長押し時間	終了は
3 長押しブザー	長押し

<設定変更メニュー画面>

1 スキャン速度 7(0.8秒)

速く 戻る	遅く 終了
----------	----------

<設定内容変更画面>

変更した内容を
保存しますか?

はい いいえ 戻る

<変更保存確認画面>

- 「いいえ」を選択すると、保存せずに設定変更画面を終了します。
- 「戻る」を選択すると、設定変更メニューに戻ります。

お知らせ

- ・設定変更の途中で無操作が1分間続くと、「あと〇秒入力が無ければ通常動作に戻ります」の表示が出て設定変更メニュー終了の警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的に通常動作に戻ります。そのままスリープ状態になると、設定は保存されませんのでご注意ください。

利用者による設定変更

利用者が本機に接続した1つの入力スイッチを使って行います。

- ① **設定** を選択します。
- ② 「設定変更」という音声の流れ、設定変更メニューの画面に切り替わります。以後、「設定変更メニュー」の指示に従い設定を変更します。
- ③ 上記方法で設定変更メニューに移行すると、右図のように液晶画面に変更項目が順次表示されます。以後、利用者が入力スイッチを操作するだけで設定変更ができます。
- ④ 設定変更メニューの設定項目が一定時間ごとに上にスクロールして切り替わります。変更したい設定項目が一番上の行に表示されたとき入力スイッチを押すと、その項目の設定内容変更画面になります。
右図は一例として「1:スキャン速度の設定内容変更画面」を示します。
2行目には1行目の設定項目の内容が簡単に記載されています。
3行目、4行目は次とさらにその次の設定項目が記されています。
- ⑤ 設定内容変更画面では、同様に一定時間ごとに項目が順番に切り替わるので、変更したい項目が反転したところで入力スイッチを押すと、設定が変わります。
- ⑥ 「戻る」を選択すると、設定変更メニューに戻ります。
「終了」を選ぶと、右のような保存を確認する画面に切り替わります。
入力スイッチを長押しするか、設定変更メニューの「41:設定終了」を選択しても右の画面に切り替わります。
変更した内容を反映させるには必ず「はい」を選択して保存してください。

1 スキャン速度	7(0.8 秒)
赤いLEDランプの移動速度	
2 長押し時間	終了は
3 長押しブザー	長押し 4 連

<設定変更メニュー画面>

1 スキャン速度	7(0.8 秒)
速<	遅<
戻る	終了

<設定内容変更画面>

変更した内容を 保存しますか？		
はい	いいえ	戻る

<変更保存確認画面>

- 「いいえ」を選択すると、保存せずに設定変更画面を終了します。
- 「戻る」を選択すると、設定変更メニューに戻ります。

お知らせ

- ・2スイッチ・ステップスキャン方式で操作する場合は、入力スイッチ1でメニュー項目の移動、入力スイッチ2でメニュー項目の選択になります。
- ・1スイッチ・ステップスキャン方式で操作する場合は、入力スイッチを短押しするとメニュー項目の移動、入力スイッチを長押しするとメニュー項目の選択になります。さらに長押しすると、設定変更を終了します。
- ・変更した設定内容は「保存」を実行するまで反映されません。ただし、57ページ:設定33「日時設定」、設定37「設定初期化」、設定38「保存初期化」、設定39「環境制御初期化」はすぐに反映されます。
- ・設定変更の途中で無操作が1分間続くと、「あと〇秒入力が無ければスリープに移行します」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的にスリープ状態となります。

設定項目一覧

最初はお届け時の状態で動かして頂き、製品の基本的な特徴を理解する中で、利用者が最も操作しやすい設定に調整して使うことをお勧めします。

お知らせ

- ・設定項目を変更したとき、必ず最後に「設定変更を保存」する必要があります。
設定変更を行った場合、最後にメニューの「保存／終了」を選択し、保存を実行してください。

■設定内容

設定項目	設定範囲／選択肢	初期状態	説明
1 スキャン速度	1(0.2秒)～17(8秒)(17段階)	9(1秒)	文字板の赤いランプの動く早さを調整します。数字が大きいほど、早くなります。
2 長押し時間	0.5秒～15秒(12段階)	2秒	呼出ブザーを鳴らすまでの時間を調整します。(設定3の長押しブザーが「あり」であるときのみブザーが鳴ります) 設定時間を長くすると、ブザーの誤動作は起こりにくくなります。入力スイッチ操作の特徴に合わせて、適切な設定で利用してください。
3 長押しブザー	あり／なし	あり	長押しでブザーが鳴るのを無効にできます。
4 長押しキャンセル	あり／なし	なし	スキャン動作中は長押し時間の半分の時間を押すと先にスキャンをキャンセルできる機能です。「長押し時間」が2秒以上のときのみ有効です。
5 スピーカー音量	0(無)～7(8段階)	4	スピーカーから出る音量を調整します。
6 イヤホン音量	0(無)～7(8段階)	4	イヤホンから聞こえる音声を調整します。
7 ブザー音量	0(無)～7(8段階)	4	スピーカーから出る呼び出しブザーの音量を調整します。
8 連打ブザー	なし／ 1秒に3回／ 1秒に4回／ 2秒に4回／ 2秒に5回	なし	入力スイッチの連打でブザーを鳴らすことができます。例えば「2秒に4回」では2秒以内に4回入力スイッチを押すとブザーが鳴ります。ただし、操作が上手になってくると、スキャン速度も速くなり、普通に文字を選んでいても2秒以内に4回入力を選択してしまうことがあります。入力スイッチの操作の特徴に合わせて、適切な設定で利用してください。
9 ブザー種類	1/2/3/4	1	ブザーの音を4種類の音色から選べます。
10 音声種類	男性／女性／ 男の子／女の子／ ドレミ／なし	女性	操作時の音声を選択します。ただし、設定変更やリモコン機能のガイド音声は設定にかかわらず女性の音声です。「ドレミ」は音声が「ド・レ・ミ・ファ・ソ…」の音階で鳴ります。「なし」は音声ガイドが無しとなります。「ドレミ」「なし」でも「発音」を選択したときはスピーカーから音声で読み上げます。このときの音声種類は「なし」にする直前に保存されていた設定の音声「男性、女性、男の子、女の子」となります。
11 スキャン回数	1回／2回／3回	2回	赤いランプの点灯の繰り返し回数を設定します。

設定項目		設定範囲／選択肢	初期状態	説明
12	スキャン開始位置	左／中／左なし	左	<p>スキャン開始の位置を選択します。</p> <p>●「左なし」の場合「操作」と読み上げる固定文字板はスキャンしません。「操作」の項目の理解が困難という方が複雑な操作に入らないことで、よりシンプルな使い方ができます。</p> <p>(注意)「左なし」を選択すると、利用者自身では設定変更ができなくなり、支援者のみが設定変更可能となります。 ➡51 ページ</p>
13	ブロックスキャン	あり／なし	あり	<p>赤いランプの動き方をブロックごとのスキャンから開始するか、1列ごとのスキャンから開始するかを選択します。</p> <p>「なし」の設定でオリジナル文字板を使用すると、1列ずつではなく、1項目ずつスキャンします。</p>
14	連続入力	あり／なし	なし	<p>文字を入力した後、次のスキャンを自動的に始めるかを選択します。</p>
15	読上速度	速く／普通／遅く	普通	<p>「発音」選択時の音声の読み上げ速度を調整します。</p>
16	入力確定時読上	1文字／画面／全部	1文字	<p>入力した文字を決定したときに読み上げる文章の範囲を設定します。</p> <p>●『1文字』 直近に入力した文字または言葉のみを確認のために読み上げます。</p> <p>●『画面』 入力を決定するごとに液晶画面に表示されている文字を読み上げます。視覚障害のある方などは、どこまで入力できたかを都度確認できます。読み上げ途中に入力スイッチを押せば、読み上げを中断して次の操作を行うことができます。</p> <p>●『全部』 入力を決定するごとにそれまでに作成した文字(液晶画面～隠れている文字も含めて)を読み上げます。都度、文章全体を把握できますが、読み上げ終了までの時間が長くなります。読み上げ途中に入力スイッチを押せば、読み上げを中断して次の操作を行うことができます。</p>
17	入力確定時画面	追記／上書き／発音後消去	追記	<p>液晶画面に文字を表示する際、追記表示、都度消去して表示、読み上げ後に消去のいずれかを設定します。</p> <p>●『追記』 文字を選択し、液晶画面に表示する際、カーソル部の後ろに追加して表示します。</p> <p>●『上書き』 文字を選択し、液晶画面に表示する際、カーソル部の後ろに上書きで表示します。単語も1文字として上書きします。</p> <p>●『発音後消去』 文字を選択し、液晶画面に表示する際、カーソル部の後ろに追加して表示します。「発音」を選択し、作成した文章を読み上げた後、作成した文章をすべて消去します。</p>

設定項目	設定範囲／選択肢	初期状態	説明	
18	上の階層への移動	あり／なし	あり	ブロックスキャンで間違っただブロックを選んだとき、および行のスキャンで間違っただ行を選んだときに「行のスキャン」「文字のスキャン」の1周の最後にその間違えてしまった「ブロック」または「行」を全て光らせるパターンを入れます。各周目の最後にこれを選択すると、そのスキャンをキャンセルし、すぐに1層上のスキャンに戻ることができます。
19	選択保持時間	0秒(なし)／ 0.2秒／0.4秒／ 0.6秒／0.8秒／ 1.0秒	0.4秒	環境制御機能、カーソル操作での項目決定時、一定時間、その項目の点灯を保持します。その間に入力スイッチを再び押せば、同じ項目を繰り返し実行することができます。
20	入力無視時間	0秒(なし)～1.0秒 11段階	0(なし)	ここで設定した時間以下の瞬間的な入力スイッチの入力を無視します。 ●瞬きなど瞬間的な動きでスイッチ操作を行う場合、通常の短い瞬きでは動作せず、意識した長めの動作(長めの瞬きなど)だけで操作することで誤動作を防ぐことができます。 ●入力スイッチを手付けて固定しているが、常に震えがある、と言う場合に有効です。意図しないわずかな震えによる入力を無視し、意図してしっかりと入力スイッチを押した場合のみ認識されるようになります。 ●入力スイッチを押す力が弱く、通常操作でも極めて短時間の入力となる方がこの設定を有効にすると逆に入力そのものできなくなる可能性があるため設定は慎重に行ってください。
21	震え誤動作防止	0秒(なし)～ 1.0秒 0.1秒刻み、 11段階	0(なし)	入力スイッチを1度押した後、この時間内に押されたスイッチオンを無視します。 ●1回だけ入力スイッチを押そうとしても、震えて何度も押してしまう方に有効です。最初に押した1回のみが認識されるようになります。ただし、素早く正確にスイッチ操作ができる方には逆に連続して押すことができないため使いにくくなってしまいます。設定には注意が必要です。 ●本設定範囲は利用者の操作状況を見て誤動作を防ぐことができる適切な長さ設定してください。
22	外部出力1信号	マウス左クリック／ ゲームパッドA／ リターンキー／スペースキー／ パッドB	ゲームパッドA	外部出力1でUSBケーブルで接続した先の機器に発信する信号の種類を設定します。接続する機器側の仕様に合わせて選択してください。
23	外部出力自動復帰時間	なし／30秒／1分 ／2分／3分／4分 ／5分	なし	外部出力1, 2で外部機器を接続している状態で入力スイッチの操作をしない時間が、ここで設定する時間だけ継続されたら、自動的にファイン・チャットへ操作対象を戻します。 ただし、この設定時間の前に警告が出ますので、そこで入力スイッチを押せば、引き続き外部出力による操作を継続します。
24	液晶明るさ	なし／1／2／3	2	液晶バックライトの明るさを設定します。
25	液晶コントラスト	1～10	6	液晶コントラスト(濃淡の対比)を設定します。

設定項目		設定範囲／選択肢	初期状態	説明
26	液晶表示行数	3行／4行／5行／ オート1／オート2 ／オート3	4行	液晶画面に表示する文字の行数を設定します。行数が多いほど表示できる文字は多くなりますが、一つ一つの文字は小さくなります。また、オートでは液晶に入力した文字数に応じて文字の大きさを自動的に切り替えます。(⇒22ページ)
27	自動スリープ	スリープあり・MB 対応なし ／ スリープあり MB 対応あり ／ スリープなし・MB 対応なし ／ スリープなし・MB 対応あり	スリープ あり・M B対応な し	何も入力のない状態が3分続いた時にスリープ状態にするかを設定します。乾電池で使い続ける際は、省エネのため、自動的にスリープ状態になるように設定することをお勧めします。 また、USB-DC コードを使ってモバイルバッテリーを接続する場合は「MB 対応」を選択することで、ファイン・チャットが一定時間ごとに意図的に微弱電流を消費することでモバイルバッテリーがスリープ状態となることを防ぐことができます。この時消費する電力はごく僅かなので、モバイルバッテリーの使用時間にはほとんど影響しません。(⇒47ページ)
28	テレビ メーカー	パナソニックA／パ ナソニックB(プライ ベートビエラ対応) ／シャープ／ソニー ／東芝／日立／三 菱／なし(7社)	パナソ ニック A	環境制御機能・プリセットモードのテレビメーカーを設定します。 対応するテレビは2015年以降の機種です。 信号が対応していない場合は別途「学習リモコンモード」で信号を登録することで操作できます。 注)設定 30 で「会話と学習リモコン」「学習リモコンのみ」を選択した上で、本項目で「なし」を選択すると、プリセットのテレビリモコン信号のメニューも表示されません。(⇒40 ページ)
29	テレビ アンテナ	地デジ,BS,CS/ 地デジ,BS/ 地デジ,CS/ 地デジ	すべて	設定 28 のプリセットで操作を行うテレビのテレビアンテナの選択肢を設定します。CSを視聴しない場合は「地デジとBS」、BSも視聴しないという方は「地デジ(のみ)」とする等で、不要な切り替えを防ぐことができます。
30	環境制御機能 重要	会話とテレビ (プリセット) ／ 会話と学習リモコン ／ テレビ(プリセット) のみ ／ 学習リモコンのみ ／ 会話のみ	会話と テレビ	「会話」「テレビリモコン(プリセット)」「学習リモコン」のいずれを利用するかを切り替えます。 ●「会話とテレビ」 会話機能とテレビリモコン(プリセット)が使えます。 ●「会話と学習リモコン」 会話機能と学習リモコン(テレビリモコン含む)が使えます。 ●「テレビのみ」 テレビリモコン(プリセット)のみが使えます。導入の初期などに、機器操作に慣れる目的で本設定に設定するとわかりやすいです。 ●「学習リモコンのみ」 学習リモコン(テレビリモコン含む)のみが使えます。一般の環境制御装置として機能します。 ●「会話のみ」 会話機能専用で動作します。 (※)学習リモコンを利用するが、テレビリモコン(プリセット)のモードは表示したくないという場合は、設定28のテレビメーカーを「なし」とすれば、テレビリモコン(プリセット)の画面は表示されません。 (⇒40 ページ)

設定項目		設定範囲／選択肢	初期状態	説明
31	起動方法	長押し／瞬間 長押し連打	長押し	本機前面の電源を【入】にした状態で起動させるときの時間を設定します。 ●「長押し」 入力スイッチを 0.5 秒押し続けると起動します。 ●「瞬間」 入力スイッチを瞬間的に押すと起動します。 (この場合、55ページ:設定20「入力無視時間」の時間設定には依存しません) ●「長押し連打」 上記「長押し」に加え、53ページ:設定8「連打ブザー」で設定した連打の時間・回数で起動します。
32	プリンター	1, 2, 3	1	接続するプリンターの種類を選択します。 別紙のプリンターの機種に応じた番号を選択してください。(⇒33ページ)
33	日時設定	年・月・日・時・分	—	時計機能の年月日、時間の設定をします。 支援者が本体のボタンを使って設定することもできます。(⇒49ページ)
34	保存機能	あり／なし	あり	保存機能のあり／なしの設定を切り替えます。 「なし」とした場合、文字板下部の保存枠はスキャンしないので、スキャンの待ち時間が短くなります。
35	スイッチ操作方法 重要	1オート／2ステップ／1ステップ	1オート	1 スイッチオートスキャン、2 スイッチステップスキャン、1スイッチステップスキャンの切り替えを行います。(⇒13ページ)
36	USB メモリ	読み込み／書き込み／フォーマット		「設定内容、保存文章、学習リモコン」の内容を USB メモリに保存、読み込みができます。プリンター／USB メモリ端子に USB メモリを接続してからこの項目を選択してください。(⇒48 ページ)
37	設定初期化	はい／いいえ		スキャン速度、長押し時間などの全ての設定項目を初期設定(工場出荷状態)に即座に戻します。
38	保存初期化	はい／いいえ		保存機能を用いて保存したすべての言葉を消去、初期設定(工場出荷状態)に即座に戻します。固定文字板の最左列・上から2, 3番目の枠は初期状態の「トイレ」「吸引」となります。
39	環境制御 初期化	はい／いいえ		学習リモコンで登録した全てのリモコン信号を消去、初期設定(工場出荷状態)に即座に戻します。
40	設定ロック	あり／なし	なし	ロックありの場合、以後、利用者が「設定変更」に入ると、「支援者しか変更出来ません」と出て、設定変更には入れず、スキャン開始状態に戻ります。 支援者が赤のボタンを押しながら起動させれば設定変更に入ることができます。利用者が操作中に誤って設定を変えてしまうのを防ぐことができます。
41	設定終了 重要	はい／いいえ／ 戻る		設定画面から通常操作に戻る時に選択します。 それまでの設定変更内容を反映させるには必ず「変更した設定を保存しますか」の画面で「はい」を選択して、変更した内容を保存してください。

故障かな!?

故障かな?と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らない時や、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確かめてください	参照ページ
電源が入らない 突然電源が切れてしまう	<p>●ACアダプター、モバイルバッテリーを使用している場合 USB-DCプラグケーブルの差込口は、電源供給があれば緑色に点灯します。これが点灯していなければ、本体に電源が供給されていないことになります。ケーブルの断線、ACアダプター、モバイルバッテリーの接続不具合が考えられます。接続やモバイルバッテリーの充電も確認してください。 USB-DCプラグケーブルの差込口は緑色に点灯しているにも関わらず、本体の電源スイッチ(灰色)を「入」にしても本体電源ランプ(緑色)が点灯していなければ、接続端子のぐらつきなど接続端子の不具合または本体そのものの不具合などが考えられます。お買い上げの販売店へご相談ください。</p> <p>●乾電池を使用している場合 電源ランプ(緑色)が点滅、または点灯していないと電池切れです。新しい乾電池に交換してください。 なお、電池残量がほとんど無い場合は、電源ランプが点滅する前に本機の電源が切れてしまうことがありますので、電源ランプが点滅を始めたら早めに乾電池を交換してください。</p>	12、13、 14、47
入力スイッチが反応しない	<p>●本機の青ボタン・緑ボタンを押しても動かない時は… 本機の異常が考えられます。電池やACアダプターなどを確認してください。</p> <p>●本機の青ボタン・緑ボタンを押して正常に動く時は… 入力スイッチを接続する端子を間違えている可能性があります。13ページを参照し「入力スイッチ端子1または2」に正しく接続しているか確認してください。 次に、入力スイッチの異常も考えられます。スイッチの動作不良やケーブルの断線などが無いかなどを確認してください。</p>	13
カチカチ音がする	消費した乾電池を使用している場合にカチカチと音がする場合があります。新しい乾電池に交換してください。	13
文字板が正しく認識 されない	文字板をしっかりと入れ直してください。	19
オリジナルの文字板が 正しく認識されない	オリジナル文字板で、分割数が正しく認識されない場合は、文字板右側の「白と黒の枠」の設定が上手くできていないことが考えられます。「オリジナル文字板を活用する」を参照し、正しく設定してください。特に、白枠への黒シールの貼り方に注意してください。	30~32
リモコン操作ができない	<p>以下の項目を順番に確認、試してください</p> <p>(1)なんでもIRは正しく接続されていますか? →本機の左側のUSB端子に接続しているか、接続端子の、差し込みのゆるみが無いかなどを確認してください。</p> <p>(2)リモコン信号を発信したとき、なんでもIRの先端が青く点灯、次に緑の点滅がありますか? →点滅しなければ、接続が適切でないか、断線、リモコン信号の登録がうまくできていない可能性があります。</p> <p>(3)なんでもIRと操作機器の距離は適切ですか? 距離や方向によって赤外線信号が届かないことがあります。なんでもIRの位置を見直してください。</p>	14、39


こんな症状が出たら

表示画面	確認するところ・原因・対策	参照ページ
入力限界です	文字入力が入力上限に到達しています。これ以上文字を入力することができません。	-
操作を進めてください あと○秒入力が無ければ 通常動作に戻ります	1 スイッチ・ステップスキャン方式と 2 スイッチ・ステップスキャン方式で、クイック設定モード、保存機能、設定変更メニューなどを操作中に 1 分以上無操作が続くと通常動作に戻ります。	50~52
操作を進めてください あと○秒入力が無ければ スリープに移行します	文章保存、設定変更または日時設定の途中で 1 分以上無操作が続くとスリープに移行します。	32、49、 51
電池が消耗しています 操作中に電源が 切れる恐れがあります	電池が消耗している状態で電源スイッチを入れたときやスリープ状態から通常状態になった時などに表示されます。操作中に電源が切れる可能性がありますので新しい乾電池に交換してください。	13
プリンターを 確認してください	印刷や紙送り操作を行ったときにプリンターが正しく認識できていません。プリンターの状態やプリンターとの接続を確認してください。	33
印刷が完了しませんでした 設定を変更してください	設定で認識できないプリンターが接続されています。57 ページ:設定32「プリンター」の設定を変更して印刷できるか確認してください。	34

Q&A (よくあるご質問)

Q(質問)	A(回答)	参照ページ
文字板		
文字板の赤いランプが移動する速度(スキャン速度)を速く、または遅くしたい	53ページ:設定 1「スキャン速度」で、使いやすい速度に変更できます。 「クイック設定モード」または「設定を変更する」のスキャン速度の変更方法を参照してください。	53
オリジナル文字板で、分割数が増えると縦と横の選択が複雑になる。わかりやすいように 1 枠ずつ読み上げてスキャンしてほしい。	オリジナル文字板を利用する場合、54ページ:設定 13「ブロックスキャン」を『なし』にすると、オリジナル文字板の 1 枠ずつをスキャンさせることが可能です。また、54ページ:設定12「スキャン開始位置」で『左なし』にすることで、オリジナル文字板で作成した枠のみを一つずつスキャンさせて、選択することも可能となります。	54
固定文字板の「操作」を選択しないようにしたい	54ページ:設定 12「スキャン開始位置」で『左なし』に設定すれば固定文字板の「操作」の部分のスキャンしなくなります。 ただし、この場合、文字板の「全消」や「一消」を選択できないので、事前に 50 音の下の空白にこれらを保存しておく(命令機能の保存→29 ページ)か、作成した文章などの消去は支援者が本機の一消ボタン(黄)や全消ボタン(赤)を使って操作してください。 また、「あいさつ」「体調」「オリジナル」の文字板だけで一言ずつやり取りして会話をする場合などは、54 ページ:設定17「入力確定時画面」で『上書き』を選択すると、常に最後に選んだ1つの言葉だけが液晶画面に表示されます。	29、54

<p>文字板を交換しないで、他の文字板の言葉を選択できますか？</p>	<p>できます。例えば、【ひらがな】の文字板をセットしているときに、【あいさつ】の文字板の言葉を入力したい場合、固定文字板部分の【あいさつ】の枠を選択し、その次にセットされている【ひらがな】の文字板の枠を選択すると、【あいさつ】の文字板がセットされているものとして動作します。同様に【体調】【オリジナル】を選択すれば、それらの文字板の言葉を入力できます。 【オリジナル】を選択した場合は「30分割」のパターンで保存した文章のみが呼び出し可能です。</p>	<p>20、21</p>
<p>文書作成</p>		
<p>文章の保存が上手くできない</p>	<p>保存の方法に誤りがあると考えられます。「作成した文章を保存する」のステップをやり直してください。</p>	<p>26～27</p>
<p>保存した文章を消去したい</p>	<p>●保存枠一つだけを消去したい場合 液晶画面に何も表示されていない状態で「保存」を選択すると、「保存した文章を消去します」と表示されます。その後、消去したい保存枠を選択すれば、その枠の文章だけが消去されます。 ●全ての保存を一括して消去したい場合 57ページ:設定 38「保存初期化」を実行してください。</p>	<p>28、57</p>
<p>漢字変換はできますか？</p>	<p>本機は会話に必要な言葉を作成することを考えた意思伝達装置であり、複雑となる漢字変換機能は省略しております。本機の文字板に最初から登録してある漢字のみ、選択することができます。</p>	<p>—</p>
<p>電子メール、インターネットは使えますか？</p>	<p>使えません。ただし支援者がスマートフォンを使って、文章をQRコードに変換してから読み取ることができます。読み取ったテキストデータを支援者が電子メールやLINEに取り込んで送信してもらうことはできます。</p>	<p>35</p>
<p>作成した文章をワイヤレスコールで送れますか？</p>	<p>送れません。 ワイヤレスコールはブザー音を鳴らすのみとなります。</p>	<p>—</p>
<p>作成した文章をパソコンやスマートフォンに送れますか？</p>	<p>パソコンに直接送ることはできません。スマートフォンを使って、文章に相当するQRコードを読み取ってテキストデータとして取り込むことができます。</p>	<p>35</p>
<p>パソコンのキーボードとして使えますか？</p>	<p>使えません。パソコンタイプの意思伝達装置との連携による併用は可能です。</p>	<p>36～38</p>
<p>設定変更</p>		
<p>まばたきスイッチを使っていて小さな動きでもセンサーが反応します。誤動作を防止する方法はありますか？</p>	<p>55ページ:設定 20「入力無視時間」や設定 21「震え誤動作防止」の設定を活用すると、しっかりとまばたきをしたときのみを検知させたり、連続して2回以上まばたきした場合でも1回のみと検知させたりできます。ただし、53ページ:設定4「長押しキャンセル」や設定8「連打ブザー」などが逆に誤動作と見なされて反応しなくなる可能性もありますので、支援者が利用者の身体状況をよく考えて設定してください。</p>	<p>53、55</p>
<p>1スイッチ・オートスキャン方式では、選択したい項目が光るまで時間がかかってしまいます。速く操作する方法はありませんか？</p>	<p>利用者が、2つの入力スイッチを使い分けできる場合は、「2スイッチ・ステップスキャン方式」を試してください。もしくは、1つの入力スイッチで押し時間の長さを使い分けできる場合は「1スイッチ・ステップスキャン方式」を試してください。どちらの入力方式の場合でも、スイッチを押す回数は多くなりますが、自分のペースでランプの移動ができますので待つ時間は少なくなります。</p>	<p>13</p>

<p>入力スイッチを押すのが大変なので、一回でも押す回数を減らす方法はありませんか？</p>	<p>54ページ:設定13「ブロックスキャン」を『なし』にすると、1列ずつスキャンするので、入力スイッチを押す回数は1回減ります。ただし、文字板の右の方の枠を選択するまでのランプ移動に時間がかかってしまいます。 また、54ページ:設定14「連続入力」を『あり』にすると、一つの文字を選択した後、自動的に次のスキャンを開始しますので、2文字目以降の入力時のスイッチ操作回数はさらに1回減ります。(この設定は、操作に慣れてから変更することをおすすめします。)</p>	<p>54</p>
<p>スイッチを押してから離すまでの時間が長くかかってしまい、操作中にブザーが鳴ってしまいます</p>	<p>入力スイッチを押してから離すまでの間が長い「長押しブザー」が働いています。もしくは、続けて入力スイッチを押して、「連打でブザー」が働いています。 「長押しブザー」の場合は53ページ:設定2「長押し時間」で設定時間を変更して、操作中に鳴らないように調整してください。または、53ページ:設定3「長押しブザー」でブザーが鳴るのを『なし』にすることができます。 「連打でブザー」の場合は53ページ:設定8「連打でブザー」で調整してください。どちらの場合でも、「緊急」の枠を選択すればブザーを鳴らすことができます。</p>	<p>53</p>
<p>スキャン速度を速くしていると、普通に操作していても「連打」と認識され、ブザーが鳴ってしまうので、鳴らないようにできませんか？</p>	<p>53ページ:設定8「連打ブザー」で入力スイッチを3回または4回続けて押したときの、ブザーが鳴る回数と時間を変更できます。『なし』にすると連打によるブザーが鳴らないようにできます。</p>	<p>53</p>
<p>読み上げの速度が速くて聞き取りにくい</p>	<p>54ページ:設定15「読上速度」で速さを3段階から選ぶことができます。『遅く』にすると聞き取りやすくなります。『速く』にすると読む時間を短くすることができます。</p>	<p>54</p>
<p>液晶</p>		
<p>液晶画面の明るさを変えたい、文字の濃さを変えたい</p>	<p>液晶の明るさは、55ページ:設定24「液晶明るさ」で変更できます。文字の濃さは、55ページ:設定25「液晶コントラスト」で変更できます。いずれも「クイック設定モード」でも変更することができます。</p>	<p>50、55</p>
<p>電池</p>		
<p>電池はどのくらいもつのですか？</p>	<p>パナソニック製アルカリ乾電池で約8時間(室温25℃)連続動作します。(使用状況により多少変動します。)家庭用コンセントが近くにある場合はACアダプターを使用し、外出の際は予備の新品乾電池をお持ちいただくことをおすすめします。 また、モバイルバッテリーとの併用も有効です。</p>	<p>47</p>
<p>入力スイッチ</p>		
<p>どんなスイッチが使えるの？純正のオプション以外でも使えますか？</p>	<p>接続部がモノラルミニプラグのものならほとんどのものが使用可能です。弊社のオプションスイッチは、動作を確認しておりますが、対応品以外の商品の動作保証は致しかねます。詳しくは販売店にお問い合わせください。 なお、様々な入力スイッチの操作事例は以下のHPも参考にしてください。 マイスイッチ「 https://myswitch.jp/ 」 (右のQRコードからアクセスできます)</p>	<p>13</p> 

身体状況が変化して、使っている入力スイッチの見直しをしたい時などはどこに相談すればいいですか。	入力スイッチは身体状況に合わせて様々なものがあります。販売店やかかりつけのセラピストの方などにご相談のうえ、適切な入力スイッチを選んでください。前ページのマイスイッチのホームページにも、いろいろな適合事例がありますので参考としてください。	13、61
視線入力センサーには対応していますか？	対応していません。視線入力センサーはパソコンが必須のためパソコンを使わない本機は対応できません。本機は外出時や移動中でもすぐに使えることを目指しており、都度、顔との距離の調整が必要な視線センサーは適していません。様々な入力スイッチがあるので、適切なものを検討してください。	13
支持具・コール		
支持具やワイヤレスコールなどは、メーカーオプション以外でも使えますか？	支持具・ワイヤレスコールとも、メーカーオプション以外の製品も利用可能ですが、メーカーオプション以外のものを利用したときの動作保証はできません。また、事故・故障などの責任も負いかねます。販売店にご相談のうえ、安全に注意してご使用ください。	6、14
呼出ブザーを病院のナースコールと連動できますか？	ナースコールなど、緊急時に利用するブザーとしては利用できません。	14、18
プリンター		
プリンターはどんなメーカーでも使えますか？	USB 端子を持つ一部のエプソン製プリンターのみ使用可能です。33ページ記載の対応プリンターをご使用ください。なお、QR コードを使ってスマートフォンに取り込んだ文章については、「スマホプリント対応」機種であれば、メーカーを問わず印刷可能です。	33、34
赤外線リモコン		
赤外線信号の到達距離はどれくらいですか？	一般的に約 10m 程度まで届きますが、壁の反射や障害物によって影響されます。うまく操作できないときはなんでも IR の置き場所などを変えてみてください。	14、39
どんな電化製品でも操作できるの？	赤外線リモコンで操作できる機器のみです。WiFi 経由や Bluetooth で操作する機器には対応していません。	14、39
信号はいくつまで登録できますか？	プリセットの信号はメーカーによって決まっています。学習リモコンでは最大 60 個まで登録できます。	39
信号や名称の登録は入力スイッチでできますか？	信号や名称の登録は入力スイッチだけでは行えません。使用する機器のリモコンのボタンを押しながら、本機のスイッチを操作するなど両手を使った複雑な操作が必要ですので支援者が行ってください。	43~46
データの保存／読み込み		
デモ機を借りています。購入するので、今登録したデータを取っておいて、購入したらすぐに移したいのですが…	デモ機を返却する前に、それまでの設定を USB メモリに保存しておいてください。購入後その USB メモリのデータを購入した製品で読み込めば、すぐに同じ環境で使い始めることができます。	48、57
USB メモリに保存したデータのコピーや移動はできますか？	できません。どうしてもコピーや移動をしたいという場合は、そのデータを一度本機で読み込み、改めて別のファイルに保存し直してください。	48、57
データの保存／読み込みは誰がするのですか？	保存／読み込みとも、入力スイッチだけでは行えません。USB メモリの接続などの作業が必要なので、支援者が行うことになります。	48、57

仕様

■本体

項目	仕様
寸法	長さ 262mm×幅 30mm×高さ 195mm
質量	約 750g(文字板 1 枚含む、乾電池含まず)
電源	
AC-USB、モバイルバッテリー時	DC5V
乾電池使用時	DC6V(単 3 アルカリ乾電池 4 個)
消費電力	1.6W、 6VA(AC アダプター入力)
入力端子	
入力スイッチ	2 系統 モノラルミニジャック
DC 入力端子	DC ジャック(DC5V)
出力端子	
スピーカー端子	モノラルミニジャック(0.5W/8Ω)
イヤホン端子	モノラルミニジャック(40mW/16Ω)
外部ブザー端子	モノラルミニジャック
外部出力端子1	マイクロ USB コネクター(信号発信専用)
外部出力端子2	モノラルミニジャック
赤外線信号端子(USB)	A コネクター
プリンター/USB メモリ用端子	A コネクター
LCD 表示	dot 数 268×80dots 表示可能文字 3 行表示時:33 文字(11 文字×3 行)、文字サイズ小 4 行表示時:52 文字(13文字×4 行)、文字サイズ中 5 行表示時:80 文字(16文字×5 行)、文字サイズ大

■AC-USB アダプター / USB-DC プラグケーブル

項目	仕様
定格入力電源	AC100V 50Hz/60Hz
出力電圧	DC5.0V 2.0A
DC コード長さ	2.5m

■全般

項目	仕様
使用条件 周囲温度・相対湿度	周囲温度： 5℃～35℃ 相対湿度:10%～80%
保管条件 周囲温度・相対湿度	周囲温度： -10℃～60℃ 相対湿度: 0%～90%

保証とアフターサービス

- 使い方、お手入れ、修理などはまず、お買い求め先へご相談ください。
- 保証期間中は、当社の規定に従い、修理、交換をさせていただきます。
保証期間： お買い上げ日から本体 1 年間、付属品は初期不良以外は保証対象外です。
また、保証期間中でも故意の破損、お客様での分解による不具合などは有償となる場合があります。
製品を他者へ譲渡された場合は、購入時期に関わらず保証対象外となります。
- 保証期間終了後は、不具合の診断を行い、修理可能な場合はご要望により有償で修理させていただきます。
(補修用性能備品の保有期間は 5 年です。
生産終了後、5 年を経過した場合、部品が確保できない場合があります。)

意思伝達装置ファイン・チャット 保証書

(ご注意) シリアルナンバー、お買い上げ日、販売店印が無い場合は、保証が受けられない場合があります。
お買い上げ時に必ず記入していただくようお願いいたします。

品番	AYL-FC01
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
シリアル No.	本体背面の電池ふたの右側に記載があります。 AYL-FC0 _____ (0以下4桁の数字が入ります)
お買い上げ日	202 年 月 日
お客様	ご住所 _____
	お名前 _____ 電話 (_____) _____
販売店	住所・販売店名 _____

【製造販売】

アクセスエール株式会社 AccessYell Co.,Ltd.
〒567-0032
大阪府茨木市西駅前町 6-22-301
E-mail info@accessyell.co.jp
TEL 072-646-7260 FAX 072-626-1113
ホームページ <https://accessyell.co.jp>